

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（138）」

2. 日時：令和4年6月17日（金）13時30分～16時22分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、鈴木管理官補佐、海田主任安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、藤原主任安全審査官、西来地震・津波審査部門付、松末技術参与、杉野統括技術研究調査官、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官、馬場係員

北海道電力株式会社：藪執行役員 他6名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関する検討方針について
（令和4年5月27日審査会合における指摘事項に対するコメント回答）
- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関する検討方針について
（令和4年5月27日審査会合における指摘事項に対するコメント回答）
（補足説明資料）
- ・ 泊発電所3号炉 残されている審査上の論点とその作業方針および作業スケジュールについて

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁タニです。ヒアリングを始めたいと思います。今日のヒアリングの内容としては、泊発電所3号炉基準津波のに関する検討方針についてと、
0:00:15	ということとあとはスケジュール関係の資料がありますので、まず、資料の説明の方北海道に電力からお願いいたします。
0:00:26	はい。北海道電力の松村です。
0:00:30	基準津波に関する検討方針ということで、5月27日の審査会合、それから6月8日のヒアリングを踏まえまして資料作成をいたしましたので、
0:00:43	説明いたします。
0:00:46	検討方針の方と作業スケジュールと両方合わせて説明をしたいと思います。説明の方はアオキからお願いいたします。
0:00:55	北海道電力の青木です。
0:00:58	当資料の方を今回3種類ご用意させていただきますが、パワーポイントの資料の補足説明資料と書いてない方で説明させていただきます。
0:01:08	ページめくっていただいて、3ページをお願いいたします。
0:01:13	寺下側に津波評価の全体のフロー図を記載してございます。上段から各項目において①から⑥までナンバリングしております。
0:01:23	このうち①から③までの内容については、過去の審査会合において説明している内容もございますので、説明済みの内容と、あとまとめるにあたっての今後の方針、
0:01:35	説明済みの内容からの変更点というところについて説明させていただきます。
0:01:40	また検討項目の④から⑥にかけては、新たに説明する内容でありますので今後の方針について今回の資料で説明させていただきます。
0:01:52	5ページをお願いいたします。
0:01:58	こちら①の既往津波の検討についての説明済みの内容と今後の方針について、概要をまとめたページとなっております。
0:02:06	このうち、下段に表がありまして、一番左側に項目がございます。
0:02:11	この既往津波の検討では、既往津波の文献調査、津波堆積物の評価機を津波の再現解析の三つのところについて説明させていただきます。
0:02:24	表中の左側に説明済みの内容、右側に今後の方針という形で整理してございます。
0:02:31	このうち大きな変更が発生する箇所としましては中段の津波堆積物の評価となります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:38	と平成 26 年 12 月 5 日の審査会合においては、と北海道と当社の調査結果を踏まえまして岩内部屋周辺においてと K Y 07 地点以外に津波堆積物の可能性を示唆する堆積物は確認されていない。
0:02:54	少なくとも約 7000 万年前以降においては明瞭な津波堆積物は確認できていない。
0:03:01	そこから翌年の 5 月 15 の審査会合においては、1993 年北海道長瀬沖地震津波を上回る津波堆積物は確認されていないと。
0:03:12	いうところが説明済みの内容となっております。
0:03:15	そこから右側の今後の方針としまして、
0:03:18	過去の審査会合以降の、
0:03:21	泊発電所の敷地周辺の津波堆積物に関する知見を網羅的に収集して説明させていただきます。
0:03:28	また収集した知見に対して、これらを反映した評価結果を改めて説明する予定となっております。
0:03:36	引き続きまして 6 ページをお願いいたします。
0:03:43	こちらは詳細な説明済みの内容となっております、右上に書いてあります通り 6 が、
0:03:48	平成 26 年の 12 月 5 日の審査会合の再掲した資料となっております。
0:03:54	このページでは既往津波の文献調査についての、
0:03:58	を再掲した資料となっております、
0:04:02	要点を抜粋しますと左側のテキストボックスの三つ目のマル。
0:04:06	と敷地の出金で津波高が記録されている津波のうち最大のものについては、1993 年北海道南西沖地震津波である。
0:04:16	こういうところが要点となります。
0:04:18	7 ページに気を津波高の記録が、
0:04:22	記載されてございます。
0:04:25	続きまして 9 ページをお願いいたします。
0:04:29	ここからは津波堆積物評価に関する、説明済みの内容について改めて説明させていただきます。
0:04:37	この 9 ページにおいては北海道における調査結果が記載されてございまして、
0:04:42	右側に大きく北海道の図がありまして、この豊島区と四角のマークにおいて津波堆積物の調査を行うのはしてそのうちホシ側のところなんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:54	すいませんあのね、これまでの説明済みの内容を、特に説明してもらう必要はないかなと思ってて、いや説明済みの内容で説明済みですというのは説明して欲しいんですけど
0:05:08	そこ、こんな資料がコアあってこういう評価をしていますっていうのはちょっと置いといて、今回の方針っていうのが、方針を聞くんですね。だから、
0:05:18	ちょっと資料1枚1枚、説明してもらう必要はないかなと思っていますので、
0:05:24	簡潔に説明してもらえようお願いできますか。
0:05:28	わかりました。
0:05:30	こうしますと9ページから、
0:05:33	12ページ。
0:05:35	次、
0:05:40	10ページから13ページにかけては、平成26年12月5日の審査会合のまとめた資料となっております。
0:05:48	14ページ以降、
0:05:50	から、
0:05:52	21ページまでが、平成27年の5月15日の審査会合の資料をまとめたものとなっております。
0:06:00	ここから22ページというところで、今後の方針というところになります。こちらについては先ほどの概要のところの説明しましたので割愛させていただきます。
0:06:11	続いて23ページから、
0:06:14	25ページ。
0:06:16	までにかけては気を津波の再現計算というところで、こちらも、
0:06:21	平成26年の12月5日の審査会合をまとめたものとなっております。
0:06:26	結論としては土木学会2016の間の指標を満たすというところがまとめになっております。
0:06:33	誉が、
0:06:35	①の既往津波に関する検討でして、26ページ以降地震に伴う津波のまとめとなります。27ページをお願いいたします。
0:06:47	こちら地震に伴う津波の概要を記載したページとなっております。
0:06:52	こちら先ほど同様左側に説明済みの内容を右側に今後の方針という流れで整理しております。
0:06:58	そのうち海域活断層の評価については、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:02	ご説明済みの内容としましては、
0:07:06	敷地周辺の海域活断層のうち敷地に影響が大きいと考える断層を対象に安倍の簡易予測式により推定津波高を算定いたしました。
0:07:15	その結果、推定津波高の大きくなったF B2断層とF S10断層の連動断層について数値シミュレーションの対象として結果を示してございます。
0:07:26	そこから今後の方針というところで変更点につきましては、
0:07:30	まず、積丹半島北西沖の断層の簡易予測式の算定結果を追加いたしました。
0:07:37	また今後の方針というところで、
0:07:39	位置付けが前回と変えまして、変わりまして補足検討という位置付けで、続いて津波高の大きくなる、以下の矢羽根で示した五つの波源を対象に津波の数値シミュレーションを実施しております。実施する方針としております。
0:07:54	ここで、
0:07:55	矢羽根のうち下三つのサポーター半島北西受けの断層の評価については、新しく追加するケースとなります。
0:08:03	また最後の丸で、地形モデル評価項目及び影響確認地点を変更しまして津波の数値シミュレーションを実施するという方針にしております。
0:08:15	続いて28ページをお願いいたします。
0:08:18	こちら平成26年12月5日の審査会合資料の再掲となっております、阿部の簡易予測式について記載しております。
0:08:27	続いて29ページをお願いいたします。
0:08:31	29ページが先ほどの簡易予測式による算定結果が、が左下の表に記載されております。
0:08:38	このうち赤枠で囲ったところについては、今回結果を追記したところになりまして波源としては、積丹半島北西沖の断層について評価結果を記載しております。
0:08:52	このケースの考え方としましては、上段から走向0°で、断層長さが22.6キロもフェータルのもの、その下段の走向20°40°と振った場合、
0:09:03	下の三つについては不確かさコールケースというところで断層長さを32キロメートルで評価した結果をそれぞれ記載しております。
0:09:12	この表中の一番右側の、
0:09:15	列に該当するところが推定津波高となっております、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:19	こちらを表の全体で確認しますと、黄色のハッチングでかけた五つの断層について推定津波高が大きくなるというところがありますので、こちらの五つについて補足検討という位置付けで次のページ以降で結果をまとめて、
0:09:35	結果の方針を記載してございます。
0:09:38	30 ページお願いいたします。
0:09:43	数値シミュレーションのこれまでの説明内容から大きく変更する点というところで、まず地形モデル防潮でのレイアウトの変更に伴って地形モデルが変わったというところと、
0:09:55	あとそれに付随して、評価項目が変わったというところで、今回変更点を明示してございます。
0:10:02	具体的な評価項目のうち敷地前面と記載していたところの赤ハッチングで書けていた箇所は、変更後ですと、防潮で前面に見直してございます。
0:10:13	また変更後ですと、放水工の上昇側と、あと貯留堰を下回る継続時間、パルスを考慮しない時間のところも追記してございます。
0:10:25	また 31 ページのところ、
0:10:28	こちらに影響確認してについても明記してございます。
0:10:32	これらの変更については日本海東縁部の評価で、評価項目が変わったというところもありますので、この海域活断層の評価においても、評価項目を改めて見直したというところになります。
0:10:45	続いて 32 ページをお願いいたします。
0:10:50	こちら海域活断層のパラメータスタディの考え方を記載したものになっております。
0:10:55	こちらについては特に変更したものではありませんが、
0:10:58	条件というところで今回資料化してございます。
0:11:04	続いて 34 ページ 35 ページをお願いいたします。
0:11:08	34 ページでは F B2 断層の断層モデルの諸元について記載してございます。
0:11:14	こちらについては前回からの変更はございません。
0:11:18	35 ページがそのモデルを使ったパラスターの結果を、
0:11:22	記載しているページでございます。
0:11:25	このうち左側のものが、変更前の評価項目における評価項目、地形モデルにおける結果を記載してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:34	このうち右側のものについては、赤枠で囲ってありますが、今後、現在解析中というところで、今日の資料では空欄というところで、
0:11:44	書いております。
0:11:45	今後の、
0:11:47	当間まとめた資料を提出する際にはこちらの値が記入されるというようなイメージです。
0:11:54	続いて 36 ページでは、f s 10 断層の連動断層についてのモデル図。
0:12:01	37 ページでは同様にその結果という構成です。
0:12:06	また 38 ページ。
0:12:09	こちら今回追加したものとなっておりますしてシャープと伴と北西沖の断層の走向 0° のものについての考え方となります。
0:12:18	このうち左側のテキストボックス基準断層モデルについては、敷地及び敷地近傍を含む積丹半島西岸には活構造を示唆する特徴は認められないというところから、
0:12:30	活構造が存在する可能性は十分小さいと考えられるものの不確かさを考慮し、保守的に断層長さ 32 キロの矩形モデルを設定するという条件を考えてございます。
0:12:42	こちら 39 ページで同じく現在解析中のため、
0:12:48	等、
0:12:49	プランですがこちらを記入した状態で、今後お示しすることを考えております。
0:12:55	40 ページ以降は、層厚は 20 度に振ったものというところで同じ流れで整理していきます。
0:13:03	次 44 ページをお願いいたします。
0:13:08	こちらは日本海東縁部の検討結果の概要を記載してございます。こちらについては、5 月 27 日の審査会合で示したものでして、検討内容については大きく変更する予定はございません。
0:13:21	続いて 45 ページから、地震以外の要因に伴う津波となります。
0:13:29	46 ページ。
0:13:32	こちらは説明済みの内容と今後の方針についてまとめたものとなっております。
0:13:38	この表中の一番上段のところの計算条件というところで、津波の設置シミュレーションの条件を見直すと考えております。
0:13:48	こちらの今後の方針ですと地形モデルと評価項目を変更しまして津波の数値シミュレーションを実施いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:56	また、47 ページについては、
0:13:59	と地震以外の要因伴う津波の波源の位置を明示したものですこちらの変更はございません。
0:14:06	それで 48 ページお願いいたします。
0:14:10	こちら先ほどの海域活断層の評価と同様に日本海東縁部で条件が変わったので、こちらの地震以外の要因伴う津波においても評価項目を見直して、
0:14:21	選定して、
0:14:23	検討を進めていく予定となっております。
0:14:26	また海域活断層では、影響確認地点、記載してございましたが、地震以外の伴う津波については、パラメータスタディという考え方がないので、影響確認地点というところは下げ、
0:14:38	掲載してございません。
0:14:41	また 50 ページ 50、50 ページをお願いいたします。
0:14:47	これは、この資料の再掲扱いとなっております、火山による山体崩壊にずん伴う津波の考え方を記載してございます。
0:14:57	こちら変更点ございませんので 51 ページをお願いいたします。
0:15:02	こちら下段に解析結果、記載してございまして左側が変更前、右側が変更後という構成となっております。このうち右側のものについては、
0:15:14	さっきの 48 ページで説明した通りに、評価項目、地形モデルを見直したことによってこの値が、
0:15:21	また再度算出し直して記載しているというところになります。
0:15:27	同様に、52 ページから、
0:15:33	57 ページにかけて、
0:15:36	家財以外の津波についても評価項目を見直したのでその評価結果を改めて記載したというところになります。
0:15:45	続いて 58 ページをお願いいたします。
0:15:51	岡田を新たに説明する内容としまして、地震に伴う津波と地震以外の要因伴う津波の組み合わせについての説明になります。
0:16:00	59 ページをお願いいたします。
0:16:04	こちらの説明のフローなんですが、
0:16:07	矢羽根五つございましてまず組み合わせの対象は下。
0:16:11	を選定するというところ、その次に、組み合わせ時間範囲の算定、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:16	線形の足し合わせ、組み合わせ時間、パラメータスタディ範囲の設定で最後に同一波動までの津波解析、一体解析という流れで整理していきます。
0:16:27	また検討の実施にあたっては、健全地形モデル防波堤の損傷を考慮した地形モデルの①から③の複数の知見モデルを用いて整理していきます。
0:16:38	またその他の計算条件については日本海東縁部の評価と同様な条件を考えております。
0:16:46	60 ページをお願いいたします。
0:16:51	こちらでは地震に伴う津波の代表ケース、組み合わせ対象ケースを選定する考え方を記載してございます。
0:16:59	こちらでは、海域活断層の評価で説明しました、安部の簡易予測式を用いまして地震に伴う津波の推定津波高を算出しております。
0:17:11	このうち、日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の推定津波高が最も大きくなるというところから、地震に伴う津波を、
0:17:21	そして日本海東縁部で想定される地震に伴う津波を選定していきます。
0:17:26	続いて 61 ページをお願いいたします。
0:17:30	地震以外の要因に伴う津波については、
0:17:34	表中に、各、
0:17:38	下における数値シミュレーション結果を記載してございましてこのうち赤枠で囲った陸上地すべりかは知らの評価値が最も大きいというところから、こちらを代表として選定しております。
0:17:53	続いて 63 ページをお願いいたします。
0:17:58	こちら組み合わせ時間範囲の算定となりまして、
0:18:02	まず日本海東縁部と陸上地すべりかわしラガーを組み合わせるといったところが選定されましたので、
0:18:09	衛藤。
0:18:10	日本海東縁部の地震動が陸上地すべり地点に到達する時間の T_s から陸上地すべり位置での地震動継続時間の t_d を考慮しまして、
0:18:22	組み合わせの時間範囲としては、 T_s から $T_s + T_D$ の範囲の中で発生するものとして整理してございます。
0:18:31	64 ページをお願いいたします。
0:18:36	こちら組み合わせの時間範囲の算出結果を書いてございまして、64 ページは健全地形モデルにおける組み合わせ時間範囲を、
0:18:45	まとめております。
0:18:46	ここで日本海東縁部に想定される地震に伴う津波については、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:51	東垂膨張で前面からパルスを考慮しない時間の最大ケースの、こちら七つの評価項目に対してそれぞれ最大になる波源を抽出しております、
0:19:02	それぞれの波源の位置は異なるアスピリティ条件が異なるというところで、等価震源距離というパラメータが異なりましてその結果、一番右側に書いております組み合わせの時間範囲、
0:19:15	それぞれの波源によって値が変わってくるというところで、各波源にとっての組み合わせ時間範囲を抽出することを考えてございます。
0:19:25	また 65 ページ以降については、
0:19:28	健全地形モデルと同様に防波堤の損傷を考慮した地形モデルで整理した結果を掲載してございます。
0:19:37	続いて 69 ページをお願いいたします。
0:19:42	こちらは線形足し合わせの基本方針を掲載してございます。
0:19:46	当船型の足し合わせでは、各組み合わせして、詳細については次ページ以降で説明しますが、
0:19:53	それぞれの組み合わせ支援における日本海東縁部と陸上地すべり川白の水位時刻歴は形をまず抽出いたします。
0:20:02	抽出したは形について、まず日本海東縁部で想定される地震に伴う津波のは形がベースとなりましてこれに陸上地すべり川白のは形を、
0:20:12	T S B O から T S + T D B を、
0:20:15	1 秒ピッチでずらして足し合わせたもの。
0:20:19	を線形足し合わせは形として複数の線形他社の酒を作成いたします。
0:20:25	この作成した葉系のうち、各評価項目ごとに影響の大きい時間差リーマックスというものを算出していきます。
0:20:33	ちょっと具体例というところで 70 ページ以降で説明させていただきます。
0:20:39	こちらスライドの左側に差を点で引き出し点を書いてございまして、こちら五つ項目がございまして、
0:20:48	日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の膨張で前面の最大発生地点、
0:20:54	同じく陸上地すべりの膨張で前面の最大地点、あと 3 号炉取水口前面と 12 号の取水口前面あと放水高、
0:21:02	こちらの五つの地点がございまして、
0:21:05	これらの五つの地点については系を抽出してそれぞれ線形の足し合わせを行って T M A C C S を算出してございまして、
0:21:14	こちら、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:15	70 ページにおいては、このうち黄色ハッチングかけた日本海東縁部の最大地点については形を、
0:21:21	スライドの右側に掲載してございます。
0:21:25	日本海東縁部の葉系ですと、10.20 メーター、こちら 23.5 分で発生してございますが、
0:21:33	この地点においては陸上地すべりの買わしらは、水位が上昇しないというところから、
0:21:40	この時点にも行ける。
0:21:43	さえりマックス以外のところで、当該地点以外の抽出時点における最大となる時間差による検討をこの
0:21:50	後段で検討することを考えてございます。
0:21:54	あと 71 ページをお願いいたします。
0:21:57	こちら左側の黄色ハッチングかけた陸上地すべり川白の最大地点については形を右側に記載してございます。
0:22:06	こちらは形を見比べますと、日本海東縁部と陸上地すべりのかわしら。
0:22:11	重なるというところでその重なる時間差の T M A C C S を算出していきます。
0:22:19	続いて 72 ページ。
0:22:22	こちらは 3 号炉取水口前面では計を比べたものとなっております。
0:22:27	ここでスライド下段のところに記載してございますが 3 号炉取水口については、上昇側のほかに下降側の評価も実施しておりますので、
0:22:38	線形足し合わせの結果から、水位が最大となる時間差水位が最小となる時間差、後貯留堰を下回る継続時間、
0:22:46	パルスを考慮しない時間が最大となる時間差の 3 号炉取水口前面においては四つの時間差を算出していきます。
0:22:55	続いて 73 ページ。
0:22:58	こちら補足検討という位置付けで資料まとめておりまして、
0:23:03	日本海東縁部の葉系に対して陸上地すべりの竹尾組み合わせ対象として選定してございますが、それ以外の、
0:23:12	岩盤崩壊ビンの三崎付近や火山による山体崩壊や、渡島大島に対して、
0:23:19	と組み合わせ対象にする妥当性というところで、
0:23:23	陸上地すべり川白の代表性について整理したものになっております。
0:23:27	考え方としましては、日本海東縁部の津波のピークになる時刻に着目しまして、それ以外の葉系のピーク時刻、
0:23:36	この時間関係を見比べまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:39	日本海東縁部、
0:23:41	とピークになる可能性が高い波源というところでかわしらが選定される というところを資料中でまとめてございます。
0:23:49	こちら 73 ページは上昇側について着目したものでして、
0:23:54	74 ページでは下降側についてまとめたものになります。
0:23:59	考え方は、上昇側下降側共通してございます。
0:24:04	続いて 76 ページでは、12 号炉取水口前面における評価のまとめになり ます。
0:24:12	78 ページで放水工という形でまとめてございます。
0:24:18	続いて 80 ページをお願いいたします。
0:24:24	す。
0:24:25	先のページでまとめた通り各地点において、各項目における T M A C C S を算出した結果をこちらの表中にまとめる予定でございます。
0:24:36	こちら左側日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の波源モデルとし て、四つの例が書かれておりますがこちらについては、
0:24:46	64 ページで説明したもので、波源が重複するという考え方から、七つの 波源として、
0:24:53	重複した上げがあるのでこの四つのケースを記載してございます。
0:24:58	この四つの波源に対して、
0:25:00	右側の、
0:25:02	表で計算しております四つの地点における、
0:25:06	最大なる T M A C C S を算出するという流れで整理していきます。
0:25:12	81 ページ以降は、地形モデルが防波堤参照①。
0:25:17	から③で整理して、
0:25:19	まとめていくという流れになります。
0:25:24	最後 84 ページをお願いいたします。
0:25:29	こちら組み合わせ時間のパラメータスタディ範囲の考え方というところ をまとめてございます。
0:25:36	と同一波動場の数値シミュレーションに用いる組み合わせ時間につい ては以下の通り設定していきます。まず、①というところで、
0:25:44	線形の足し合わせ結果より獲られた T M A C C S においてドイツハード 盤設置シミュレーションを実施いたします。
0:25:51	こちらの T M A C C S に加え、この T M A C C S による評価結果若菜。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:56	大きくなるとは限らないことを踏まえまして、T M A C C S の ± 10 秒以内で 5 秒ピッチで同一幅における組み合わせの数値シミュレーションを実施いたします。
0:26:07	またこの②の結果からピークは確認できなかった場合については、
0:26:12	範囲を拡大して五味をピッチで、
0:26:17	スライド中段に書いております模式図のように緑色の丸のところを、追加でどんどん検討していくというところを考えてございます。
0:26:26	また 5 秒ピッチの根拠としましては、日本海等及び想定される地震に伴う津波の周期がおよそ 8 分である。
0:26:34	3 分 500 秒であるというところから、これの 100 分の 1 に相当する 5 秒として設定してございます。
0:26:42	85 ページをお願いいたします。
0:26:46	こちらでは、組み合わせケースの最大ケース一覧を、
0:26:50	4 地形モデルの七つの評価項目に対してそれぞれ最大になる波源と評価値を掲載する予定です。
0:27:01	続いて 87 ページをお願いいたします。
0:27:07	こちら基準津波の策定の方針となります。
0:27:11	こちらについては前回の資料から、前回のヒアリング資料から大きく変えてございませんので説明を割愛します。
0:27:18	1089 ページをお願いいたします。
0:27:22	こちら行政機関による評価方針となります。
0:27:26	このうち矢羽根三つで書いております秋田県における会計 B C の連動モデルと国交省ほか 2014 における F 12 断層 F 14 断層、F 15 断層、
0:27:39	あと北海道における同じく F 12 断層 F 14 断層、F G o 断層、
0:27:44	について評価を行う予定となっております。
0:27:48	基準津波の検討方針については以上とさせていただきます。
0:27:55	北海道電力泉でございます。引き続きまして私の方からは、
0:28:01	残されてる審査上の論点と、作業スケジュールの資料についてご説明させていただきます。
0:28:09	この資料下に、ページ番号が振っておりますので
0:28:14	6 月 8 日のヒアリング以降に修正した部分について説明をさせていただきます。
0:28:22	下のページで、
0:28:24	まず、4 ページ。
0:28:26	になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:28	通し番号、通しナンバー6。これ基準津波の残されている論点についてですけれども、
0:28:36	ここの当社の作業方針作業状況のところ作業方針の方ですね上の方なんですけれども、
0:28:42	これは地震動評価で設定した断層について阿部 1989 に基づく簡易予測式により推定津波高が十分低いことを示すと。
0:28:53	ということでこの検討内容を記載のほうに追記をさせていただきます。
0:29:00	引き続き、ページ番号 7 番、7 ページになります。
0:29:06	こちらは、
0:29:08	火山影響評価の立地評価の残されてる論点で通しNo.12、13 と。
0:29:16	ありますけれどもここの
0:29:18	例えば 12 番ですけれども作業状況のところに内容を追記しておりますけれども、火山についてはですね、今後、他電力さんの資料で、レビュー等のご協力をいただくことにより、
0:29:32	さらに資料の精査を行う予定であり、作業スケジュールに沿って対応を進めていくと、こういった記載を入れてございますこれ 13 番も同様でございまして、
0:29:43	8 ページの影響評価 14 番、こちらの方にも同様な記載を追記させていただきます。
0:29:51	それから、
0:29:53	9 ページ、通し番号 15 番、それから、10 ページ、こちらモニタリングの方の論点になりますけれども通し番号 1067。
0:30:03	こちらの方にも同様の記載を追加しているというところになってございます。
0:30:10	それから、
0:30:12	ページ番号の、
0:30:17	18 ページ、こちら作業スケジュール、
0:30:21	になりますが、こちらの火山影響評価、
0:30:25	の方の、
0:30:26	表現を適正化するという修正を行っております。具体的には、上の方の立地評価の通し番号 12 番 13 番。
0:30:36	がでございます。これ、前はですね 3 月以降、8 月 7 月中まで、
0:30:42	説明期間という、青色の棒を一本引いていたといったような説明をさせていただいたんですけれども、少なくとも 4 月以降は検討、或いは資料作成期間だろうと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:54	といったご指摘をいただきましたので、4月から7月までは検討資料作成期間、8月上旬。
0:31:02	資料提出、9月上旬、新審査会合の希望時期ということで修正しております。資料提出時期と、審査希望時期は修正してございませんけれども、
0:31:14	4月から7月までの表現を修正しております。それから14番から17番、こちらについても、
0:31:22	説明き
0:31:23	期間については変更してございませんけれどもその前段階の検討、資料作成時期については、
0:31:30	前回9月上旬以降としておりましたけれども、
0:31:34	立地評価の資料提出後、速やかにということで8月中旬以降に修正するとともに検討資料作成と、
0:31:43	言ったような表現、案2、2段階で検討すると、表現してございます。
0:31:49	修正内容については以上でございます。
0:31:54	説明、
0:31:57	当社からの説明は以上になります。
0:32:02	規制庁谷です説明ありがとうございました。
0:32:06	ちょっとまず最初に確認なんですけど、これって前回のヒアリングで、確認してたことから、結構ちょっと場所によっては細かい検討方針みたいなのが追加されてるんですけど、
0:32:20	基本的にはその検討方針自体は前回ヒアリングで説明。
0:32:26	いろいろ確認したんですけども、その検討方針自体は変わってなくて、前回説明してたような内容が資料化されてるっていうことなんでしょうかそれとも、
0:32:37	何か前回のヒアリングを踏まえて、何か方針を変えたりしてるようなところあるんですか。
0:32:50	北海道電力の奥寺でございます。今、谷さんがおっしゃった中の全社で、説明内容を補強したということで、方針の変更等はございません。以上です。
0:33:04	はい。確認できました。
0:33:06	前回に引き続いてということで確認に入りたいと思います。
0:33:13	えっとですねえ、ちょっと
0:33:17	まず
0:33:18	全体的な話なんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:21	ちょっと三瓶Gで残されてる運転とか、
0:33:26	スケジュールだとか全体の、
0:33:28	流れが書いてあって次5ページに行くんですけどもね。
0:33:34	これ
0:33:36	説明済みの内容っていうのが左側にあるって、今後の方針っていうの右側にありますけど
0:33:43	バーになってるところっていうのが、今何か説明を聞いてると。
0:33:48	何か
0:33:49	もう、例えば、一つ目の項目企業調査の文献調査は説明済みだったから、もうこれ何もしないんですよって言うような話に聞こえたんですね。
0:34:00	これ説明済みっていうのがいつかって言った26年だとか、
0:34:03	木を津波の再現解析だって26年ですよ。これって、何かその後、
0:34:10	例えば、
0:34:11	説明済みであっても、その後何かこう反映すべきようなことがあればですね、それは今後の方針で説明、何か追加して説明すべきなんだと思うんですけど。
0:34:21	それって、そういうこの26年の説明以降に、何か反映すべき知見がないことを確認したから、
0:34:33	ここバーになっているのか。
0:34:35	それとも間瀬ただ単に説明済みで、もうその後何もしていませんっていう話なのか。
0:34:42	ちょっとそのあたりを確認してもらっていいですか。
0:34:46	北海道電力の奥寺でございます。何も手をかけないというふうに見えてしまったというのも申し訳ないんですけども、その後の最新の知見なんかをあまねくさらってですね。
0:35:00	必要であれば反映する予定であると、というような意思ですけどもバーのところについては大きな論点等はないと考えているのでそうバーと表現させていただいてます。
0:35:11	その中でも対敷地周辺の文献調査的に言いますと、津波堆積物評価に関する事項っていうのが、かなり出てきておりますのでそこが大きな論点かと考えてございます。以上です。
0:35:27	規制庁丹ですけど何かちょっとよくわかんなかったんですけど、例えば文献調査の中で津波堆積物の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:34	内容もあってそれはだからに津波堆積物評価のところに入れてるっていう説明ですか最後なんかチラッと行ってたの。
0:35:45	北海道電力奥寺でございます。そうです真ん中のところの津波堆積物評価の文献調査についてはこういったことが起きているので、大きな内容としてはこういうものを追加して、
0:35:58	評価を実施していくとそういうことでございます。以上です。
0:36:03	はい規制庁タニです。
0:36:04	えっとですねまずはですねこれ、
0:36:09	バーで書くっていう中に、今奥寺さんが説明されてるような背景がいろいろあってちゃんと一応確認してる上で、
0:36:19	これは更新しないんだっていう話であれば、
0:36:21	ちゃんとその辺をこう書いてもらわないと、何か、
0:36:27	説明済みだからもういいんですみたいな感じにとらえてしまうのですね。
0:36:32	ちゃんとなんで、バーって何なのかというのを説明して欲しかったんですけど、この場をとって、この26年以降に更新するような知見がなかったんだって言ったって書いて欲しいし、
0:36:47	いやいやそうそうじゃなくて何か文献調査をし、しててそれが津波堆積物評価の中に、生きてくるんだっていうんだってそう、そういうことも、
0:36:58	下階たらいいと思うんですね。これも何もしていませんというような感じじゃなくて、ちゃんと
0:37:06	書いたらいいのかなと思いますんで、同じように既往の津波、津波の再現解析であって、
0:37:12	26年以降に、
0:37:15	文献調査等をしてみたけれども、
0:37:19	ここをやり直す必要ないんだっていうことを考えてるんだって、そういったことをちゃんと説明していただけたらと思うんですけど。
0:37:27	その辺は考え方を記載するっていうだけなんで、
0:37:31	大丈夫ですよ。
0:37:50	北海道電力の奥寺でございます。今おっしゃった趣旨を踏まえてきさを適正化するよう検討いたします。
0:38:01	はいお願いしますこれ多分今私言ったことは、多分火山とか

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:07	その辺のそうなので、地震以外の要因伴う津波例えば 46 ページだとか、そういうところも、何かちょっと書いていただいたらいいかなと思うし、何かね。
0:38:19	46 ページだとか見てみると、やっぱり計算はやるんだけれども、だけどバーになってるとかいうのがですね。
0:38:26	何かこう資料上よくわからなくて、
0:38:30	きっとこれ更新はされるんですよ。で、
0:38:34	その計算条件が、
0:38:37	変わるころ、
0:38:38	だから、これは、
0:38:41	今後の方針というのは、このごめんなさいなんか私が言いたい場、場って何ですかっていうところなんですけど。
0:38:48	ちょっとこう、状況ちゃんと書いてもらったらいいかなと思いますので、よろしくお願いします。
0:39:03	北海道電力の奥寺でございます。記載を適正化いたします。
0:39:09	はい、お願いします。
0:39:11	あとねちょっと何か。
0:39:14	私説明途中でちょっとこれは、申すきこれこれまで説明してきた内容ですって言ったところ、説明をちょっと遮ってしまったんですけども、
0:39:25	これなんか 8、
0:39:28	なんていうんですか。
0:39:30	6 ページ以降に、こういった
0:39:33	過去の審査で使ったものをバーツに入れてるっていうのが、
0:39:37	これが入ることこれなんか位置付けがよくわからなくて、これが入ってるせいで何かすごくわかりにくい。
0:39:45	ですんで、しかも一部修正ってかかっているから、
0:39:49	今回なんかこれ検討しているのかなとかちょっと思ったりもするわけですよ。で、何か
0:39:57	これまでこういった説明をしてきたんですっていうだけの資料だったら、
0:40:04	巻末というか、
0:40:06	何か補足説明資料とかに入れてもらうとかで、多分そっちの方がですね、読んでて、これが一体何なのかは迷わずに済むんですよ。で、
0:40:16	具体的に例えば、よくわかんなかったことを言うと、
0:40:20	21 ページで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:24	何かこうこのページって一部修正って書いておいて、調査結果まとめを、27年から修正かけてるんですよっていうのがあって、
0:40:34	これ、矢羽根で下に、敷地周辺にはこれまでと同様に、上回る津波堆積物が確認されていないって、これまでと同様になってというのが、いつからいつまでのことなんかよくわかんなくて、
0:40:48	今回出てきてる資料が一部修正で出てきてるんだから、これってもう何か調査結果を、
0:40:54	入ってるのかなとか。
0:40:57	思いつつ読んでみると22ページを今後、
0:41:01	今後収集します本郷修まあ今修正してんだ、収集してんだと思うんですけど、収集して評価を実施するっていうことになってて、何かですね。
0:41:14	すごくわかりにくくなってるんですね、なのでちょっと種資料構成としてこれから今回今回の会合ってあくまで検討方針を聞くんですね。
0:41:24	これまでこんなことを説明して市来ましたっていうんだったら何かちょっと概要的にこう記載するのはいいと思うんですけど、資料そのまま過去に使ったものをそのままくっつけるっていうのであれば、
0:41:35	こういうつけ方はやめた方がいいかなと思ってて、ちょっとこの辺の構成を考え直してもらえますか。
0:41:45	北海道電力の奥寺でございます。何て言ったらいいんでしょうか基本的には、
0:41:51	過去にこういう設備をしていたっていうのが、この前の説明でわかりづらいのかなと、こちらはそう思って、何て言ったんすか要点を抜粋。
0:42:04	して入れたほうがわかりやすいというふうに思ったので入れたんですけども。
0:42:08	今、
0:42:09	逆に、
0:42:11	入れるんだったら幾らいいということでしたんで、
0:42:17	何ていうか補足資料2過去の
0:42:20	資料を送り込むとかその辺については、検討させていただきます一部変えたとかっていうのはこの資料に入れるにあたって、説明の流れとかが、
0:42:30	何て言ったらいいんでしょう。
0:42:32	抜粋して資料化すると流れが悪くなるのでそういう、わかりやすいように一部文言を追加したとか修正したとかそういう意味なので、中身自体を変えているわけではないです。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:48	はい。
0:42:50	ここにありますがよって言うてくれたらいいだけの話だと思っので、その過去こうい資料がついてますよっていう話ただけであればですね、
0:43:00	ちょっとこの、この資料の、
0:43:03	メインとしては、今後、今、今、
0:43:08	このあたりはもう、今後、何て言うんすかね、論点が残っているのはこれでローン、この点については論点がもう残っていないんですよっていう。
0:43:19	北海道電力の主張と、その金今後の検討方針が、わかりやすくですねまとまってるような資料にしていきたいと。
0:43:28	ということです。お願いします。
0:43:34	北海道電力奥寺でございます。検討いたします。
0:44:02	すいません規制庁鈴木です。よろしいでしょうか。
0:44:07	えっとですねすいませんちょっと前回、すいませんきてすぐだったので、一通り聞いて特にコメントはしなかったんですけど。
0:44:15	ちょっと一番最初、すいません2ページ目3ページ目でお伺いしたいんですけど、
0:44:21	私が2回、一応これ、公開の会合で、順次説明するよってという話は、私もCEOの意見交換なりも見て把握はしてて、
0:44:33	一応一応に説明するのではなくてある程度段階を追って説明してくださいねということに対して、
0:44:40	何かスケジュールで見ると、もうほぼすべて8月上旬ということで、これ基本、今の段階から順々に説明するよりも、これはほぼほぼ一通り、1度に説明したいですって、
0:44:53	一応そういう考えなのかなと思いつつですね、3ページ目のところで、
0:44:59	③の地震以外に、の要因に伴う津波これ8月上旬ってなってるんですけど、何かこれ後に行くともう評価結果まで出ていて、
0:45:08	これがなんで時間か何かの理由があって、他とまとめて説明したいっていうのがあるんだと思うんですけど資料上よくわからないんですよ。
0:45:18	これ何か理由あるんですかね。スケジュールの方見てもこれ主要な論点じゃないので、別途のスケジュール表を見ても、特に何か何をやってるから8月上旬になるかってのが全くわからなくてですね。
0:45:30	これは、評価結果が出たんだけど何か考察することがあって、それよって今こうい作業やってますよっていうのが、資料上見えなかったの、これ何かあるんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:02	北海道電力の奥寺でございます。地震以外の③とかは結果が出ているんですけども、地震に伴う津波よりですね、
0:46:12	組み合わせとかについては今計算実施中検討中ということで、
0:46:18	そういうような状況なので、8月ということで書かせていただいています。以上です。
0:46:26	わかりました。あくまで、これセットで説明したいので、
0:46:31	従ってその時についていう趣旨です。はい。
0:46:34	ですね、おおよそ何かバーとか空欄とか、今後の方針のところ、なぜそういう方針になってんのか理由が書いてないって話はもう担任の方で、
0:46:44	二通りなんで、すみません津波堆積物評価の5ページ目、5ページ目のところにあるその右側今後の方針の津波堆積物評価なんですけど、
0:46:54	この見方として何か一つ目の丸は、
0:46:57	網羅的に収集します何か今後の予定としてこれからこれからってか現在進行形のものも入ってると思うんですけど、
0:47:03	収集すると言っていて、これはすでに種収集してるものをこれから収集するなので、ものもあって、
0:47:12	いつまでにやるかってのあると思うんですけど、その中からもすでに収集した知見の中でこれはしっかりと評価に反映しなきゃいけないと思っているものが、この北海道が公表したもので、
0:47:26	それを評価に反映する、ちょっとこれは上が集中するでしたが収集しちょ細かくて申し訳ないんですけど、
0:47:34	上の収集するの内数の中に、下の収集した知見というのがこれ入ってるってことなんですよこれ読み方というか資料の構成上、
0:47:49	北海道電力の奥寺でございます。
0:47:53	何て言ったらいいでしょうね。
0:47:54	文献については大方収集して今までに出ているものについては大方収集してございますし終わってございます。それを分析の上、スクリーニングされてくるのが、
0:48:07	北海道の交換文献であろうというところまではわかってるんですけどもその資料を資料館をブラッシュアップしていくという作業をしているところでございます。以上です。
0:48:19	はい、ありがとうございます。
0:48:23	で、
0:48:23	次がですね一番聞いたところ、27ページなんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:29	すいません今後の方針のところ、左側これまで説明していて、直近で日本海東縁部の方の説明をしましたと。
0:48:37	今後の方針のところ、当然ながらその積丹半島北西沖の断層これで簡易予測します
0:48:45	はいはいわかりますと。
0:48:47	今後の方針のところ何かその位置付けを変更したっていうふうにされた先ほど聞こえたんですけど、
0:48:54	接続を変更して補足検討ですっていうと、補足って多分、何かに補って足すんということなので、
0:49:01	こここれで何をしたいのかなあとこう想像しながら見てたんですけど。
0:49:06	多分後ろの方に行くと、多分もう地震による津波とあと地震以外の津波の組み合わせのところに行くと、結局日本海東縁部と、川下ですかね。
0:49:18	との組み合わせみたいになっていて、結局この補足検討ってだから何々をするための補足検討なのかが、あまり資料上目的がよくわからなかったんで、そういう目的とかってこう書き足したりとか、
0:49:32	することっていうのは、
0:49:34	可能なんでしょうか。
0:49:46	北海道電力の奥寺でございます。
0:49:50	東縁部が大きくなるであろうということは予想していたんですけども、実際に数字としてどれが大きいんだっていう確認をして、
0:50:00	今から見込みを立てるという意味では簡易シキイのもとで評価して東縁部が大きいということをもって、今後の組み合わせの方針は東縁部でやっていくと。
0:50:12	そういう意味で、簡易式で評価は、今の段階での見込みの評価は終わるんですけども、
0:50:20	数値シミュレーションはきちんとやろうという大きいもの、影響の大きいものについてはきちんとした数字を出していこうということで、
0:50:29	対象を選ぶ評価終わってるんですけども、数値シミュレーションは、補足でききちんとやっていこうとそういうような位置付けで書かせていただいています。以上です。
0:50:43	はい。そういうことなんですね。
0:50:47	はい。ちょっとそこら辺のキーは置いておくとして、
0:50:55	ちょっと何かそういう何か目的もわかるように書いてもらった方が、いやその目的がいいか悪いかとかそういう話はまた対応だと思いますけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:04	何か、なぜ補足なぜ補足なのかとかなぜやるのかっていうところが、ちょっとよくわからなかったんですね、そういうのはわかるようにしないと、何か結局結果を見て最後フルセットになってから、
0:51:16	立ち返って、これはああだこうだっていう形で議論になると、何か、せっかくこう段階を追って会をやるみたいな話なんていうのが意味がないんじゃないかなという気がしたので、ちょっと申し上げた次第です。
0:51:34	続けてしまう。
0:51:35	て申し訳ないんですけど後、
0:51:37	ここ、資料上の細かい話なんですけど、多分 35 ページとか以降ですね。
0:51:44	当然評価をするので左側のケースがあって右方のケースで当然評価値が埋まらないのはわかるんですけど、
0:51:52	これ、断層パラメータの概要も書いていないってこと、これもパラメータも含めて、
0:51:59	現在検討中だから空欄なんですかね。
0:52:05	単純に単なる質問なんですけど、これ。
0:52:09	北海道電力の奥寺です。パラメータスタディをやり直しやり直している最中ということであります。結果が出てないので空欄にしてごめいます。
0:52:26	わかりました。
0:52:36	はい。
0:52:38	規制庁谷ですけどちょっと関連なんですけどこれ、これってね。
0:52:43	なんか 27 ページでいきなり補足検討っていう言葉が出てきてて、何かやっぱりさっき鈴木さん確認したように、補足検討って何やねんっていうのがよくわかんないですよ
0:52:55	過去の過去のやってきた検討に何か補足して、検討するのか、それとも何か今聞いてると、どうやら簡易予測式を、でも選ぶんだけど、だけど、
0:53:07	確認っていう感じなんですかねそれで本当に合ってるのか確認するような意味合いで、ちゃんと 1 回やっていくよっていう話で、何かその目的はちゃんと書いて欲しいんですけど。
0:53:18	何か、
0:53:20	その説明の順番がちょっと、すごくわかりにくくて。
0:53:25	まずこれ、積丹半が違う違う違う違う、日本海東縁部

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:31	と、日本海東縁部をチャンピオンにするんだっていうのが決まっ、決めた後に補足検討っていうのをちゃんと書いてくれないと。
0:53:42	何なんだろうなって思うし、なおかつ 29 ページは
0:53:47	なんて言うんですかね、簡易予測式をやるって言うっておきながらここには、
0:53:52	日本海東縁部が入ってないんですよねっていう何か説明の順番が何かすごくわかりにくくて、今話を聞いてて何となくわかってるんですけど、
0:54:03	ちょっとその辺、
0:54:07	わかりやすく説明していただけたらなという。
0:54:11	そういうリクエストだけです。
0:54:16	北海道電力奥寺でございます。一応趣旨を説明させていただきますけど、3 ページ目をご覧ください。
0:54:28	ちょっと資料がわかりづらいということはそれはそれとしてですね、②の地震に伴う津波というところに、海域活断層の評価という項目と、東縁部における評価という項目があって、
0:54:44	それぞれを出た後に、最終比較をするという段があるのでまず海域活断層の説明をしていると。
0:54:52	そういうことで最初の、お一、海域活断層の簡易式予測式による推定津波高、
0:55:00	他の評価をやった後に最後に、東縁部との比較というものが、似たようなフォーマットですけれども出てきていると。
0:55:09	出しているというそういう関係にさせていただきます。
0:55:13	以上です。
0:55:17	規制庁タニすの立て付けが、何となく考えられてることわかりました。
0:55:23	ただ、じゃあじゃあれですねそれさっきの目的みたいなのもちゃんと書いてくださいっていう時に、
0:55:29	んだからこういうことを考えてるから補足検討なんですよっていうのをちゃんと書いてもらったらいいの、いいのかなっていうふうに思いますので、
0:55:41	僕らはとにかく補足検討っていうのがいきなり出てきて何なんだろうなこれって思ったところなので、
0:55:47	はい、よろしくお願いします。
0:55:51	北海道電力奥寺でございます。今のところの確認ですけども、ちょっと補足検討が唐突すぎて言葉の意味がわからないっていう。
0:56:00	ことと大きな話としては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:04	立て付けを私が説明して理解いただいたってところその辺がわかりづらいので、その辺がわかりやすくなるようにというご指摘でよろしいでしょうか。
0:56:15	いや、立て付けをこうしてるからこうですっていう説明はいらなくて、
0:56:19	どっちかという、何で補足検討。
0:56:25	でいいのかっていうのをちゃんとわかるようにその前段の部分を説明。
0:56:31	して欲しい。そのためには、順番を入れ替えるのもいいのかもしれないんですけど、それは今の北海道電力さんがこう考えてる立て付けっていうのはそれはそれで一案であるとは思っているので、
0:56:45	そこそこわかりやすく説明。
0:56:47	佐々されたらいいかなと思いますので、お願いします。
0:56:52	改良電力オクデラでございます。検討いたします。
0:56:59	すみません、再び鈴木戻りますけれども、
0:57:02	ちょっと今ほぼタニの方に補足をしてもらったのであれなんですけど、
0:57:07	一応聞いてみると、理解としては、一応海域活断層でしっかり評価します日本海等はすでに評価したものがあります。その二つが出揃ってから、
0:57:17	最後比べますと、両者別々にやってですね。
0:57:21	で、
0:57:22	結果として、当然ながら差異を比較すると、前者の海域活断層の方は、結局捕捉にすぎないものになるだろうという見通しは持っている。つまりそういう意味で、すみません理解しましたちょっと順番とか、
0:57:36	見せ方とかっていうのは工夫、先ほど言った2の方から言ったように工夫してもらえればと思うんですけど。
0:57:41	すみませんじゃ最後あと1点だけで、一番最後の行政機関による評価なんですけど、多分前回もこんなものがあるんじゃないですかってのは多分幾つか、
0:57:51	コメン例示しなコメントしてたような気がするんですけど、この行政機関による評価のところですねこれ多分今まで何か説明があった。
0:58:03	だけではなくて今回、説明の中に入りますということで、
0:58:08	あのね、どういう
0:58:11	行政機関の評価としてこれだん、今三つあってやすべて網羅して、探すとこの三つなのでこれについてこういうことをやりますっていう説明なのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:21	いや、こういう考え方でこういうものを拾い込んで、
0:58:26	さらにその中からスクリーニングしなくこの三つになったのか、ちょっとこう三つあります。これやりますってということで前回よりはすいません一歩進んだと思うんですけど。
0:58:36	なぜこの三つなのかっていうのがちょっとよくわからないんですけど。
0:58:40	この辺も何かこういう抽出の仕方をして、これが起こって、じゃあこれやりますっていうのはですね、そういう説明にならんものかなあと思ってですね、前回は1枚紙だったんで、今回も、
0:58:51	今回三つ図がついたんで、少しはわかるようにはなったつもりなんですけど、
0:58:57	これ、これは、
0:58:59	ちょっとそういう工夫ですね。そうしないと、何か何かこの三つやるんですねってことだけで、多分次の回を聞くことになるのかなと思ってですね。
0:59:10	そのあとで結果を見てからなんか、次の手戻りがあってもしょうがないなというつもりで今、すみません、聞きするんですけど。
0:59:24	北海道電力奥寺でございます。今のご指摘、理解しましたので、真子
0:59:32	これだけに限定するというよりは今わかってるのがわかってるのは少なくともこれだけということで、きちんと調査した上で最後決めていくというような趣旨ですので記載を検討いたします。
0:59:52	すみません。なぜ今だからこれも拾い上げ中で、少なくともこの辺は拾い上げて、何か基準津波との比較の検討を行うっていう、今のところ決まっているのはこの三つっていうそういう意味での書きぶりなんですね。はい。
1:00:10	北海道電力奥寺でございますその通りですので、ちょっと記載を工夫いたします。
1:00:20	あ、規制庁谷ですけど。
1:00:23	関連というか、聞いててわかんなくなっていて、これって、こういう知見がなんか、例えば、日本回位ではこういう、こういう
1:00:33	行政機関の評価がいくつかあって、その中から、それを確認していった中でこの三つやっとならばいいんだらうってことで選んでるんじゃないんですか。
1:00:46	とりあえずこの三つを入れたみたいない感じに聞こえてしまったんですけども、何か、一応何かいろいろ集めたんですよ。その中で、
1:01:00	選んだのかどうなのかっていうのをちょっと確認させてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:06	北海道電力の室田です。今谷さんおっしゃったようにちょっと最新のところまで調べきれてないんですけど例えば新潟県であったり、
1:01:15	鳥取であったり、富山県であったりいろいろ、
1:01:19	行政の評価出してる中でこの三つというのが秋田県が一番、
1:01:25	波源が大きいもので、
1:01:27	その他北海道とか外国交省については、泊サイトの前面で評価してるという、いうことでこの三つを今選んでるというような状況です。以上です。
1:01:42	規制庁谷です。なんでだからあれですかそれで、
1:01:47	泊発電所の近くのやつだけをちょっと入れましたと。これだから、まだ確認中のところがあって今の説明でいうと、必要に応じて追加するっていう考えでいるんだったら、ちょっとその辺を追加して、
1:02:03	もらったらまだ、まだもう検討途中なんだなっていうのが僕はわかると思うので、何かその辺は、状況を言え分かるようにしていただけたらと思います。
1:02:15	北海道電力の室田です。記載適正化させていただきます以上です。
1:02:21	すいません規制庁するケースは、今先ほどあった後の秋田県、
1:02:26	国交省とか多分北海道は明らかにあのサイト近くなんでっていうのはわかるんですけど、秋田県のところとかも、
1:02:33	こういう理由なんで今拾い上げてますぐらいいは、回答いただいた方が、
1:02:38	何か後々何でこれですかとかっていうことで、介護の場とかで、無駄な無駄な質問がないので、何かこういう理由で拾い上げたっていうのがあるんだったら、
1:02:48	それは変えていけばいいと思いますけどね。
1:02:52	北海道電力の室田です。秋田県は波源が一番大きいので、断層が確か350キロぐらいあったと思うので、一番日本海側で一番大きいという。
1:03:03	評価で選んでるというようなことがわかるような記載に記載を考えたと思います以上です。
1:03:10	はい。よろしく申し上げます。とりあえず以上です。
1:03:30	あ、規制庁タニそのあとね、話聞いてて、ちょっとよく、ちょっと細かい話に入ってしまうんですけど、
1:03:39	69 ページ以降の線形足し合わせの話の、これの補足検討とかいって、
1:03:49	当線形足し合わせについて説明をしてくれてるっていうことだと思うんですけど。
1:03:58	ちょっとなんか順番に確認していきたいんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:03	これ日
1:04:06	評価地点としては、敷地前面って言うてる。
1:04:12	評価時点、敷地前面防潮て前面か。
1:04:16	防潮て前面での評価時点っていうのは、日本海東縁部が一番大きくなったところと、川岸陸上滑り地すべりの一番大きくなった地点の
1:04:28	70 ページと 71 ページの 2 地点で評価をするっていう考えなんですか。
1:04:37	北海道電力の青木です。谷さんのおっしゃる通り、防潮て前面上昇側としては、日本海東縁部が最も大きくなるチェーンと陸上地すべりが最も大きくなる地点の 2 地点を選定しております。以上です。
1:04:52	規制庁丹です。はいわかりました。読んでいくと、例えば 71 ページだったら、線形足し合わせができるよっていう書き方してて、
1:05:04	次の他の 76 ページでもう線形足し合わせが、
1:05:09	できるよう、
1:05:13	ですよ
1:05:14	この 70 ページのケース以外は、線形足し合わせができるよっていう話で、線形足し合わせをやるものについてはですね、
1:05:25	どうやってやっていくかっていうのが大体わかったんですけど、この 70 ページで、
1:05:31	線形足し合わせは、
1:05:34	しないようじゃないけど
1:05:37	遡上しないから、抽出時点においてさ、最大となる時間差による検討を実施するって言うてるこの文章がちょっとよくわかってなくて、
1:05:48	これはあれ。
1:05:51	ここだけが、まずちょっと違ったやり方をするよっていう。
1:05:55	説明なんですよ。
1:05:59	最大となる時間差による検討っていうのが、どういうことをされるんですか最初から最後までずっと、
1:06:06	ずらしていくってことなんですか。ちょっと教えてください。
1:06:12	北海道電力の青木です。と確認事項としましては、70 ページの下側の箱書きの一つ目のマル。
1:06:20	日本海東縁部の津波の最大地点については、陸上地すべりが遡上しないことから、そのあと以降の当該地点以外の抽出時点における最大となる時間差による検討を実施する。
1:06:31	この言葉の意図してるところとしましては、
1:06:35	右側の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:37	時刻歴だけ見ますと、実際、
1:06:41	この陸上地すべりの方が遡上しないので、具体的なT M A C C Sというところがそ設定できないってところが問題点としてあります。その代わりどうするかっていう観点で、この
1:06:54	日本海東縁部の最大地点以外というところで、具体的な 71 ページとかのかわしらの地点の、
1:07:00	最大地点だと具体的なT M A C C Sが出てくるのでそっちの方で、
1:07:04	検討を実施するという意味で、70 ページの一つ目の丸は、言葉を追記してございます。
1:07:12	その二つ目のマルの、また上記時間差、上記の時間差による評価が大きくなるとは限らないことを踏まえ、パラスタを実施するについては、こちら 84 ページで書いてあります通り、
1:07:29	評価の基本としては、一番上段にあります赤色の①で書いておりますT M A C C Sで検討しますが、その周辺でも、
1:07:39	②③のところでパラスタをするという考えで検討しています。
1:07:46	こちらで回答させていただきます以上です。
1:07:51	規制庁谷です。まず私がちょっと最初勘違いしてたっていうのがわかったんですけど、
1:07:58	だけれども、二つ目の丸二つ目の 70 ページの二つ目の○また 1 項を、
1:08:05	これ、どこの話をしてるんですか。
1:08:12	北海道電力奥寺でございます。84 ページの、まず、T M A C C Sっていうのを一つ、記名た後にそこを規定に、実際の同一波動場の計算をやっていくということの、この 84 ページの説明をさしています。
1:08:28	以上です。
1:08:37	オクデラでございます。P マックス 1. の決め打ちで、
1:08:43	数値シミュレーションを 1 種類だけやるということではなくてパラメータスタディを、
1:08:48	P M A C C S を起点にドイツは道場でやっていきますよという趣旨で書かせていただきました 84 ページの説明になります。以上です。
1:08:59	すいませんなんかやっぱりよくわかってなくて 70 ページで書いてる日本海東縁部に想定される地震に伴う津波防潮て前面最大、
1:09:09	発生地点ってここではもうやらない。
1:09:14	うん。
1:09:15	てことなんですよねさっきの話が一つ目のマル。
1:09:19	の話を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:22	ここの評価はするんですかしないんですかっていうと、
1:09:27	北海道電力の青木です。
1:09:30	谷さんのおっしゃる時点についてはT M A C C Sが出せないというところ で、ここはやらないと、いうところになります。以上です。
1:09:50	どっ。
1:09:51	だろう。ちょっとわからないですね。だったら、
1:09:56	ここやんないから代わりにやる地点は、
1:09:59	が、それが71ページってことなんですか。
1:10:04	藤北海道で何かアオキです。そういった理解でよろしいです。
1:10:19	うん。
1:10:22	ちょっと大分私が最初読み間違えてたのがあって、まだ理解が全然ついて いってなくて、だけどこれってあれなんじゃないんです。
1:10:32	例えば、川白の時んそ遡上しないとしても、日本海東縁部で、何て言う んすかね1回波が高くなってるのにこれが乗っかると、これはす。
1:10:44	その分プラスされるんですよね。
1:10:47	何、何でここで、
1:10:49	やんなくていいのかっていうのが何かやっぱりいまちわかってなくて、
1:10:56	規制庁の名倉です。
1:10:59	具体的に質問すると70ページの
1:11:05	黄色で、少しハッチングした四角枠で示しているは、あの地点、ここは 日本海東縁部に想定される津波、地震による津波では遡上しないから、
1:11:17	ということでここは使えないということは理解できたんですけども、
1:11:23	一方で71ページの川白の、
1:11:26	陸上地すべりの最大発生地点、
1:11:30	これーをだけやれば本当にいいのかといったときに、12号炉取水炉前面 とか、3号炉水路、
1:11:39	取水口前面ですかね。
1:11:41	ここのポイントの方が、
1:11:44	日本海東縁部の地震による津波、
1:11:48	の評価値が、先ほどお話お聞きされたような、
1:11:53	右上の川白値川白の最大地すべりの最大発生地点、
1:12:00	よりもですね、日本海東縁部の津波の評価結果が高いところを選定を出 資した場合に、
1:12:11	足し合わせの結果が高くなる可能性は否定できないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:15	こちら辺はどう考えているんですかって、そういうことです。
1:12:21	北海道電力の青木です。ちょっとまた 70 ページの下段のところに戻ってしまうんですが、
1:12:31	本間以降の当該地点以外というところで、ちょっとここをもう少し丁寧に説明させていただきますと、
1:12:37	もう先ほど川白の最大地点っていうところも説明したんですが、
1:12:44	当社の意図してるところとしては、もうこの川白の最大地点と、
1:12:49	あと、さっき名倉さんが、
1:12:51	おっしゃられてる通り 3 号の取水口前面、あと 12 号炉取水口前面、放水工のほかの地点についても、
1:13:01	同じような検討を、
1:13:04	衛藤。
1:13:05	最短で時間差の方やりますのでそちらの方でカバーできるとような考えで、
1:13:12	今回資料化したものとなっております。
1:13:21	衛藤。
1:13:27	すいません北海道電力の奥寺でございます。今場所が変わることによって、
1:13:33	最大が変わる可能性についてはどう考えてんだっていう質問の趣旨かと思いましたがけれども、その変わったことによる影響等もあるので、
1:13:44	パラメータスタディでは、
1:13:48	リーマックス 1 点でやるということではなく少し幅広にパラッ、こいつは土場のパラメータスタディをばらすことによって、P E E K 探しをカバーしていこうかなと思ってます。
1:14:00	以上です。
1:14:04	規制庁の名倉です。
1:14:06	そのパラメータスタディまで発展する時の、
1:14:10	線地点の選定というところがまだ曖昧なので、
1:14:15	そういう意味でこの 10 ページの地点選定の段階で、少しその考え方をですねパラメータスタディにし、進むときの、
1:14:25	地点選定の考え方がもう少しちょっとはっきりわかるように、
1:14:30	していただいた方がいいかなと思いました。趣旨としては理解しましたがそこんところになんかちょっと説明に含みがあるように感じてしまっていて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:40	そういう意味で、もう少し明確にですね資料上は書いていただけませんか。
1:14:48	北海道電力奥寺でございますちょっと今コメントの趣旨を確認させていただきたいんですけれども。
1:14:58	これがあるというか、
1:15:01	私が今言ったような考えD地点の辺、地点が違うところを選んだところの影響をカバーしようと考えていたんですけれども、
1:15:11	そういった、今私が説明した趣旨のような、当社の考えていうのがわかりやすくなるように、文章なり、説明を補足せよという理解でよろしいでしょうか。
1:15:25	規制庁の名倉です。
1:15:28	先ほど後から説明があった放水高 12 号炉取水口前面、3 号炉取水口前面、
1:15:37	この 3 点についてはどういう位置付けになるのか、これを選定した上でパラメータスタディの幅を、9 ケースを広げていくのか。
1:15:48	それともパラメータスタディに行ってから、
1:15:51	川白地点を中心に、時間軸のパラメータスタディをしてそれを踏まえて、
1:15:59	取水口前面とか放水工のポイントについても、確認をするっていう位置付けなのか後から、
1:16:08	そういったところがちょっと説明からは、どうも後者のようにも聞こえるし、
1:16:14	そこのところはどうなんだろうかっていうところがわかりませんでした。
1:16:20	具体的に私は類推して、した上で、不明な点というのはそういうところ です。
1:16:27	いかがでしょうか。
1:16:38	北海道電力奥寺でございます。今経理におっしゃっていただいたので事実確認の趣旨は理解できました記載のほうを検討させていただきます。
1:17:04	北海道電力奥寺でございます
1:17:07	しゃべりましたけれども聞こえましたでしょうか。
1:17:12	規制庁ナグラです聞こえました。条件に応じた視点を設定すると注記に書いてあるところで、4 点を設定するのか、それとも、
1:17:24	1 点だけを、この段階では選定して別の段階で 4 点の検討をするのか、そこのところが

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:32	パワー、いかがでしょうか。
1:17:46	北海道電力奥寺でございます。申し訳ないですもう一度確認させ、もう一度おっしゃっていただけるとありがたいです。この 70 ページの段階で、
1:17:58	特に下の四角書きの一つ目の項目。
1:18:02	に関連する注記として、
1:18:07	左側の注記 2、最後のところの語尾として、条件に応じた視点を設定すると書いてあるんですけど、この段階で 1 点だけを選定するのか。
1:18:20	もしくは 4 点を選定するのか。
1:18:24	それから 1 点を選定するだけだとしたら、例えば白地ろう川白か川白の筋滑りの最大発生地点だけを、
1:18:34	選定した場合に、それ以外の 3 点はパラメータスタディの段階で影響評価をするのかとか、そこら辺は事実関係としてはいかがなんでしょうかってそこはちょっとし、今現段階で考えを教えてくださいませんか。
1:19:04	北海道電力の青木です。
1:19:07	ちょっと 70 ページの注釈のところ、こちら記載の趣旨について、もう一度こちらから説明させていただきます。
1:19:16	藤。防潮で前面の上昇側の最大地点というものが、地形モデルや波源モデルの条件ごとに、
1:19:26	防波堤の条件とかそういったところが違うことで、この時点も若干変わってきたりってところがありますのでそういう意味でこの注釈は記載してございます。
1:19:35	あと一方この、
1:19:38	重ねた結果 T M A C C S がー。
1:19:41	出てこないから、別の地点で足し合わせるとかそういった考え方の方はこの注釈のところの意図するところではなくて、そちらは、
1:19:50	湯田のテキストボックスの当該地点以外っていうところで、
1:19:54	江藤先ほど私が説明したように川白の最大地点、
1:19:58	3 号取水口 12 号取水口放水こういったところでも、
1:20:02	時間差を算出すると、フォローがこちらの説明なんですが、
1:20:07	伝わっていますでしょうか。
1:20:12	規制庁の名倉です。わかりました。
1:20:16	黄色いハッチングがなされた下側の C 四角書きの中の一つ目の項目の 2 行目の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:23	当該地点以外の抽出支店における最大となる時、時間差による検討を実施する、その対象は、
1:20:30	上の図でいくところの黄色発注をした四角の最大発生知見。
1:20:37	以外の4点を選定するという理解でしたものでよろしいですね。
1:20:46	私そう。
1:21:05	北海道電力奥寺でございます。
1:21:08	少々お待ちください。
1:21:18	北海道電力の奥寺でございます。今当該地点以外の、
1:21:24	抽出地点におけるといったところの、以外と言っているところは、今、まずは、
1:21:31	包丁で前面の最大を探すという意味では、演舞最大の位置、これで駄目なら、71ページの陸上地すべり最大地点、これを基点この2点、
1:21:46	1点目が駄目なので、この2点目で、重ね合わせをして、そこを起点に、
1:21:52	複数のパラスタを実施していくという意味合いで考えてございます2点でございます。
1:21:58	以上です。
1:22:20	規制庁タニですけど、何か、
1:22:23	この※書きか何んな、なるほどと思ったんですけども、
1:22:29	要するにこの70ページの敷地前面の
1:22:33	最最大地点になる場所っていうのは、地形係数によって、この日、川白が最大になる地点も変わるし、東縁部に、
1:22:43	その最大地点も変わるし、
1:22:48	両方。
1:22:49	取れる場合は、
1:22:52	これこれってだから、一つのケース、地形ケースで、
1:22:56	見ると、この1ヶ所は重なりませんっていうのが例示されてるんですけど、場合によっては、両方重なるようなケースも出てくるしそれを両方やるとか、
1:23:08	これって何か、リアケースを出してるんですか。ちょっとその辺がよくわからなかったんですけど。
1:23:20	北海道電力の奥寺でございます。
1:23:23	現在出しているのは、一つの考え方の例示なんですけども細かい結果がどうなるかっていうところは現在整理中です。はい。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:44	はい。
1:23:46	そうですねこの辺だからちょっと、
1:23:49	そろったりしてみないと一体。
1:23:52	一体どうなるのかわかんないってということだと思うんですけど、これ、各例例えばですけど、
1:23:58	場合によっては、日本海東縁部の最大地点も出てくるし、川白の最大地点もこう出てきて、両方重ね合わされるときには、これ評価地点としては両方、
1:24:11	選ぶ。だから、そういう時には評価しても2%
1:24:15	5地点になるっていうことでいいんですか。
1:24:37	北海道電力の奥寺でございます。
1:24:40	基本的な考えとしては、上昇側最大というところは、一番良いのが膨張で最大のところで見ると、
1:24:49	取水口で最大のものについては取水口で見る、防水工で最大のものは降水高の最大で見ると、ただし、包丁で全面ですと重ね合わせる場所がない場合があるので、
1:25:02	その重ね合わせ対象の方の最大地点で見ると上昇膨張で全面上昇側についてはそういう考えでございます。以上です。
1:25:14	今の考えがだんだんわかってきましたこれは、71ページってというのは、
1:25:19	あれですか。
1:25:21	70ページで重ね合わされなかったときに、
1:25:25	頭を使うよっていうちょっと
1:25:28	何て言うんですけケース、ケースが、そういう時にこうするよっていうだけでつけてるだけで、
1:25:34	日本海東縁部の、
1:25:37	最大になるところが、
1:25:39	川白も、そこを遡上するとか、川白も高は形がとれるようなところだ。
1:25:45	だから、
1:25:46	もう、この71ページみたいな考え方はとらないってことなんですかね。
1:25:53	北海道電力の奥寺でございます。日本海東縁部最大のところで評価できる場合は、かわしら一の方はいかないものだと考えてます考え方としては、基本は、
1:26:06	地震に伴う津波が最大になる場所で、線形重ね合わせの評価を行っていくと、そのように考えてございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:39	規制庁佐口ですけども、多分、この考え方ってひょっとすると、
1:26:45	美浜とおんなじなのかなと思ったりなんかしてるんですけどそういうところなんか参考にされてるんですかそれとも、全くこれは御社が考えたオリジナルのものなんですかねちょっとその辺りを教えてください。
1:27:17	すいません。北海道電力の奥寺でございますちょっと美浜、美浜のところまでば、
1:27:24	すいません不勉強でわかってないんですけども、
1:27:28	評価項目に応じて最大となりそうなところで、重ね合わせた上で、あくまで基本、
1:27:36	となる時間を決定するための、
1:27:40	便宜だと思っております。
1:27:42	先期重ね合わせで最大となるところの近くに最大値があるであろうということで、
1:27:49	アローある可能性が高いであろうということでTMACCSを1個起点を決めたいなど、その考え方の説明でございます。
1:28:00	すいません以上です。
1:28:02	はいサグチですわかりましたなので、基本的には時間が、多分これぐらいで重なるだろう。しかもそれが多分さ、最大を示す時間がそれぐらいなので、
1:28:13	最終的には当然これはあくまでも線形足し合わせの話であって、実際には、ちゃんと一体計算をやるので、一体ケーソンさん、3位、一体計算やれば、
1:28:26	当然遡上するものについては、当然ながら、この敷地の前面のいわゆる評価地点ですよね。この之瀬線線で見ればいいんですけどこの中で、
1:28:38	最大のところをちゃんと取れるだろう。
1:28:41	そういう、
1:28:42	理解でよろしいですよ。
1:28:46	北海道電力奥寺でございます。TMACCS金で、最大が出そうだなというあたりをまずつけて、何か時間の起点を決定するために、線形重ね合わせというものをやります。その上で、
1:29:03	素行で、完全に最大になるとは、一体以下、一体はDOWAではなるかどうかというのがわからない不明な部分もあるので、84ページにあるような、
1:29:16	TMACCSを起点に、ある程度のパラメータスタディを実施して、
1:29:24	ピークを探していくとそのような考えでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:27	このT M A C C Sについては各評価機器評価に、評価項目において、最大となりそうなキーM A C C Sをそれぞれ選んでいくという考え方でございます。以上です。
1:29:42	はい。佐口です。多分私の言った、言ったことも多分繰り返しをされたのかなと思うんですけど、まあまあそ、そういうことなので、基本的には、
1:29:52	大体このぐらいのところにピークというのが最大になりそうな組み合わせが現れそうなので、それを線形足し合わせで一応探すんですけども、
1:30:04	当然ながら線形足し合わせ通りの時間に本当に重なるかどうかって言うのも、
1:30:11	含めて、結局はその周りで、
1:30:14	一体計算をするときにまたさらに 84 ページにあるようにサーチをして、結局それで最後、最終的に一番、
1:30:24	高いというか、影響の大きい組み合わせを選ぶと、そういう流れ。
1:30:31	ということよろしいんですね。
1:30:34	北海道電力奥寺でございますその通りでございます。
1:31:53	規制庁谷です。
1:31:56	ちょっと確認させて欲しいんですけど。
1:31:58	これはあれなんですかね線形足し合わせ、もう。
1:32:03	どれぐらいで多少おっしゃっ。
1:32:05	足し合わせるのがいいのかを決める場所であって、最終的に最大、
1:32:10	地点を見るのは、周辺だから、この
1:32:15	例えば 70 ページで、70 ページ、71 ページで、
1:32:19	黄色川白の最大地点、ここで評価するわけじゃなくて、
1:32:26	ずらして行って、敷地防潮で前面の全体を見ていて、一番高いところを探していくってことなんですか。
1:32:38	す最大の水が出る地点は、この川白の地点で探すんじゃなくて、包丁てあくまで膨張で前面をずっと見ていくってことなんですね。
1:32:54	北海道電力の青木です。
1:32:57	こちら今映しているページの、この黄色の地点についてはT M A C C Sを算出する考え方の時点であって、T M A C C S用いた同一波動場の計算で、もう一度、
1:33:09	防潮で前面の範囲で最大なる地点を抽出する予定です。以上です。
1:33:23	はい。確認できました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:28	ちょっと規制庁タニですけど、やっぱりここ、今の説明のところは、ちょっとよくよく聞いてみて、何となく
1:34:38	ここの地点にこだわるのは、こだわる程度っていうのはそんなに
1:34:44	もう絶対ここじゃないといけないとかそういう話じゃないんだとかいうのも、話を聞いてみてわかったんですけどこれはあくまで、線形足し合わせの時間を決める場所がここですよっていう、
1:34:56	話をしているだけなんだっていうような説明だと思うんですけど、ちょっとその辺のですね、何か、もうちょっとわかりやすく、最終的には前面防潮で前面の区間全部を見ますよとかいう話が何か、
1:35:14	フローみたいな形で、
1:35:17	やることがイメージできるような、
1:35:21	説明を、説明を追加していただけたらと思うんですねこれ多分、ここ私も、さっき確認しててよかったと思うのが、勘違いしたまま、
1:35:33	会合してしまうと何かすごくすれ違いそうな話だったと思うので、
1:35:37	資料、資料上ちょっと考えがわかるようにしていただきたいんですけど何かこう、わかりやすく、できそうなことないですかそのフローにするとか、
1:35:55	今ちょっとやりとりしていて、事実確認で、少しやりとりがあったのが、P M A C C Sの佐賀四方の話それと、
1:36:07	同一波動場での最大値どう考えてるのかそれと、米印のところの伊藤このあたりがわかりづらかったかと思しますので、
1:36:17	同1、
1:36:18	ちょっとどういう形がわかりよいのか今すぐ答えられないんですけども、記載を丁寧にするように、検討します。以上です。
1:36:31	はい。規制庁谷ですお願いします。
1:36:35	ちょっと話を超え、
1:36:37	せよと思うんですけど、
1:36:39	61 ページで、
1:36:43	組み合わせ対象波源を川白にしますよって言って、前回ヒアリングで確認した趣旨っていうのが本当にこれが重なるから選ばれてるんですかっていうようなことを、
1:36:56	確認したんですよ。で、それこんな資料を見ていくと、何か補足説、補足検討とかで、
1:37:05	何かちゃんとピークが重なりそうなところに来てそうだなっていうような、例えば77 ページであったり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:13	73 ページであったり、
1:37:15	ていうのが、見ていて見てみるとわかるんですね。結局だから、
1:37:23	言いたいのは何で 61 ページに、
1:37:26	敷地に影響が大きいだけで、河白尾。
1:37:32	選んでるんですか、そうじゃなくって北海道電力としては重なるっていうのをちゃんと確認した上で、
1:37:40	選んでるんじゃないんですか、その辺の考え方が。
1:37:46	よくわからないのでって言って、前回のヒアリングで確認したわけなんですけれども、やっぱりこれ、いいんですね重なる。
1:37:55	は下になるし、
1:37:58	敷地の影響が大きいっていう両方、両方があって頭を選んでるっていうような説。
1:38:05	そういう考えでいいんですか北海道電力としては、
1:38:35	はい。
1:38:36	北海道電力奥寺でございます。補足検討で示しているように、重なりそうだなということのもとに、
1:38:46	最大が出そうなのは確実に頭だろうかと、そういう意味合いで検討してございます。以上です。
1:38:56	はい、谷です。事実確認できたんですけど、いや、だったら 61 ページに、なんで頭を選んだんですよっていう川白を選んでこれを検討するのでもいいんですよっていう理由に、
1:39:08	それがあるんだと思うので、そこはちゃんと説明として入れる、入れ、入れないといけないんじゃないんですかねっていうところなんですけど。
1:39:23	北海道電力奥寺でございます。記載を検討いたします。以上です。
1:40:13	規制庁のヤマシタといいます。コメント二つ、コメントといいますか二つと質問を二つさせていただきます。
1:40:21	1 通目のコメントなんですけども、議論の前半分でありました。
1:40:26	阿部。
1:40:28	羊羹予測式のところですかね、そういったところがちょっと、やっぱり何でしょう、位置付けていうところがわからなかったりして、
1:40:37	その他に関しても、その位置付けていうのが何かちょっと、
1:40:41	にくかったのかなというイメージがありました。それを踏まえてちょっと 3 ページ目のところのフローのところ見ていただきますと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:50	こちらそれぞれの検討項目のようなことが書いてあるんですが、おそらくこのそれぞれの箱の中にさらにその中には、フローがあると思うので、
1:41:02	そういったところ、各項目の
1:41:06	今、今ここに書かれてるのは本リッタ間も目次のところの章が書かれてるようなものなので、その中の節のようなフローのところもどこか、各説明の、
1:41:17	冒頭とかにあると、その説明がこういった位置付けになるのかっていうのがわかりやすくなるのかなと思った次第です。
1:41:25	二つ目のコメントとしましては、
1:41:29	T M A C C Sについて、何でしょう。
1:41:34	説明が多分、
1:41:37	結構後ろの方に出てきてそれまで何 t M A C C S なんだろうとか、ちょっと忘れてしまったところがあったので、これが何をあらわすかっていうのが、そもそもちょっと日本語の説明が、
1:41:46	なかったかもしれなかったなっていうところがあります。
1:41:52	まずは、二つコメントでした。
1:42:03	特によろしいですかね。
1:42:08	そしたら、質問の方なんですけども、80、
1:42:15	84 ページ目のところですね。
1:42:18	ここで黄色のハッチのところの③ってところで、ピークが確認できないっていう。
1:42:25	記載があるんですけども、これってちょっと具体的にこういったものかかってのがイメージできなかったんで、ご説明いただけませんか。
1:42:36	北海道電力の奥寺でございます。T M A C C S Dあたりをつけてその周辺で検討するんですけども例えば、例えば、
1:42:48	環境に、どっちかに増加するとか減少するとかっていう話になるとP E E Kってものが出てこないことになるので、そこは、このT M A C C Sの周辺でさらに追い求めて、
1:43:01	一番高いところを探すと。
1:43:04	というような趣旨でございます。
1:43:06	よろしいでしょうか。
1:43:08	はい。つまり、例えば右のここと言ったら横軸の他、プラスの方に、
1:43:17	5秒ずらしたときに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:19	減少したとすると、
1:43:22	工夫をした時に次現象だったらよくないから、
1:43:26	プラスにさらにいくのかマイナスの方に戻すのかわかんないですけども、そこで次の
1:43:34	プラスのピークが出るまで追い求めていくと、そのそのピークが見つかった時、プラスが見つかったときに、
1:43:42	さらにずらした時に次下がったっていう時に、その前のピーク、そこ、前の、
1:43:49	最大値みたいなものを P E E K っていうふうに定義してるんですかね。
1:44:01	北海道電力奥寺でございます今野。
1:44:04	ご理解で、同じ私たちの考えは同じかと思います。以上です。はい、わかりましたありがとうございます。そしてちょっとそれを踏まえてす。最後の質問なんですけども、
1:44:15	えーっとですね、この T M A C C S の求め方っていうところで、
1:44:21	ちょっと線形重ね合わせでしていくっていうところなんですけども、
1:44:25	何て言いますかちょ、個人的な、
1:44:29	意見になってしまうんですけども、
1:44:31	ちょっとこれ、
1:44:34	正しいのかなっていうところがちょっと思ってまして、これって手法として何か、
1:44:40	既存のものがあったりするんでしょうか。例えば論文でも何でもいいんですが、
1:44:50	北海道電力の奥寺でございます。これは論文とかというより船幸祭、どこのサイトもこういう実績でやってきておりました、資金の状況で言いますと、
1:45:02	同一波動場で本当にいい 1 点で一致するのかというようなところのやりとりというのを、最新の状況として我々も把握しておりますので、そこを確認するためには、
1:45:13	最後はバランスある程度幅広のピークを見つけるパラジパラスタが必要なのかと理解してございます。それで①②③の順を追っていかうかと。
1:45:24	そのような考えでございます。以上です。はい。ありがとうございます。そうすると、
1:45:30	ですねピークを探すときに、まずその線形がそもそもここ浅いところだし発行も結構大きいのでそもそも成り立たないっていうのは、
1:45:41	ご理解されてると思うんですけども。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:43	それを踏まえて線形重ね合わせでT M A C C Sを探しましたと。ただ、T M A C C Sそのものを正しくないよねっていう考えのもとに、ずらしていくっていうこと自体が、
1:45:56	そもそもT M A C C Sが正しくないっていう、小他の場所がTマックスになってる可能性を否定できないんじゃないかなと思ひまして、
1:46:07	つまり先ほどのピークの佐賀四方で、そこで止まってしまったらその隣に、もしかしたら本当はT別のT M A C C Sがあるかもしれないとか、
1:46:16	ていうことを何て言いますか、ロジックでいったらそういう感じになるのかなと思うんですが、その辺についてはいかがでしょうか。
1:46:30	北海道電力奥寺でございます。そこら辺の確定的なことというのは数値解析をやってみて最終判断していく話かと思ひますので、
1:46:42	結果を見た上で、その妥当性含めて判断していきたいなと考えてございます。以上です。
1:46:51	ありがとうございます。ということはその通知解析自体がこのT M A C C Sによらないっていうことですか。
1:47:01	ちょっと、多分違うんだと思ひますけども。
1:47:06	と、
1:47:09	あくまでもそのT M A C C Sを見つけて、そのあとのずらしたもので獲られた。
1:47:17	ズレっていう時間を、実際の数値解析に、
1:47:22	15場で計算して、その15場で計算したものを、シーンとして、
1:47:29	各地点での最大水位っていうものを取得されるんですよ流れとしては、
1:47:38	北海道電力の奥寺でございますそのような考えでございます。
1:47:44	わかりました。
1:47:45	はい。以上です。
1:48:11	規制庁のカイダですちょっと私も確認というか、話に戻るんですけど確認させていただきたいところっていうか、資料の記載の充実化的なことなんですけど、
1:48:23	冒頭タニの方から、
1:48:27	9 ペ、9 ページから、
1:48:30	22 ページぐらいに
1:48:33	いろいろ、
1:48:34	過去の資料も含めた上で、津波堆積物評価の、
1:48:40	説明があるけど

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:42	これもいらないん、いらないうっていか、補足にでも移したらいいんじゃないかっていう話が、
1:48:47	あって私もそうだろうなと思ってまして 22 ページ。
1:48:53	1 枚があって、これに例えば、いつ市の会合において、これこれこれ、こういったものをが行ったものがあるって、
1:49:04	それについては、
1:49:06	どっかそっちの補足にあるぐらいのことでも、もうこの 1 枚ぐらいでいいんじゃないかなというふうに、
1:49:11	思ってますけれどもちょっとまたその辺はそちらの方で検討されるってということなので、
1:49:18	検討ください。その場合にちょっと〇〇移しちゃうと、よくわかんなくなるようなところがあるって、
1:49:26	例えば、
1:49:29	期、
1:49:32	何ページか、どこでもいいんですけど、
1:49:35	11 ページとかだと上の箱書きのところに、
1:49:39	行政機関による
1:49:42	調査結果とか、12 ページだと、当社による調査結果、
1:49:47	14 ページだと北海道による調査結果っていうのがあるんですけど、そのあとは何か、
1:49:53	調査結果っていうのしか書いてなくて、んなんの。
1:49:57	やつなんか書いてないんでそういったのはちょっと、
1:50:00	書き加えていただきたいなと思いますので、お願いします。
1:50:04	それと、
1:50:05	あと、22 ページで、二つ目の丸なんですけども、
1:50:11	これ最後に評価を実施するっていうふうなことが書いてあって、
1:50:16	これって一体何の評価をするのかっていうのを、ちょっともう少し明確にっていうかまだまだ漠然と評価を実施するだと。
1:50:27	よくわからないので、一体どんな位置付けでやるのかっていうのをちょっと書いていただきたいなと思います。
1:50:35	津波堆積物が基準上出てくるところは、最終的に基準津波との高さの比較だとか、
1:50:43	あと何ですか、再現の計算みたいなのところの、
1:50:48	過去の高さん。
1:50:50	この比較っていうかそれぞれで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:53	使うと思うんですけど、ちょっと現時点でこれ、どういったものの評価に使うっていうふうに考えているのか、説明いただけますか。
1:51:02	北海道電力の奥寺でございます。最終的には、基準津波の策定において、津波堆積物評価で出てきたその遡上高さといいたいまいしょうかそういうものと、
1:51:15	基準津波のは、発行分といったですね水位群が、と比較してですね。
1:51:23	津波の水位が上回ることを確認するのが目的かと、我々としては考えてございます。以上です。
1:51:33	はい規制庁の甲斐です。わかりましたじゃ
1:51:36	そのあたり、
1:51:39	わかるように書いていただくのと、
1:51:41	あと他のサイトだと例えばこの、
1:51:44	25 ページのような図のところに、
1:51:53	こういったところにもいろいろ、
1:51:55	反映されてるようなところもあったと思うんですけども、25 ページとかこういったのに反映するっていうのは、特に今んところは、
1:52:04	ないということよろしいですか。
1:52:18	北海道電力の奥寺でございます。図面につきましては、堆積物調査の新しい知見も踏まえた上で更新の必要があれば、
1:52:32	更新をしていく考えでございます。ただし敷地周辺では、
1:52:38	新しい大きな津波遡上高を示すような堆積物がなくて、
1:52:45	北海道長瀬沖地震の遡上高が圧倒的に大きいという結果、結果でありますので、比木を津波の検討として、
1:52:57	1993 年が選定されるというような結果は変わらないと考えてございます。以上です。
1:53:07	はい。
1:53:09	はい。規制庁のカイダです。わかりました。今ここの 25 ページにあるのは、
1:53:15	どっちにしても
1:53:19	この間、93 年の北海道南清沖地震のやつがプロットしてあるけれども、
1:53:26	津波堆積物調査の方でこう出てくるのってそれだけじゃなくて他のもあると思うんですけど、
1:53:34	それは結局ここに入ってこないっていうか、もう関係ないという、そういった位置付けですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:51	北海道電力の奥寺でございます。ちょっと7ページをご覧いただきたいんですけども、
1:54:01	いろんな津波の堆積物を比較する場合に、どれが一番大きいんだっていう評価の観点でもし変わる可能性があるとするれば7ページのような、
1:54:12	図がちょっと今変わるかどうかというところまで言えないんですけども、こういったものに変えるべきところがあれば、
1:54:21	その更新していくという可能性がございます。
1:54:24	ただし、先ほど言った27ページというのは別に20、5ページですか。
1:54:31	25ページは、南西沖が先ほど大きくなる結果は変わらないと考えてございますので、こちらの方は
1:54:42	変わらないのではないかなと考えてございます。以上です。これは南西沖の。
1:54:47	それを高と長瀬沖の再現計算が合ってるかどうかという比較ですので、この辺の評価結果は変わらないと考えてます。以上です。
1:55:02	はい。規制庁のカイダです。わかりました。
1:55:05	いや、うん。
1:55:08	うん。そのあたりちょっとまた資料が出てきたら、その確認をしていきたいなと思います。
1:55:18	他、ちょっとこれ今根茎するかわかんないですけど例えば1067ページとかで、
1:55:25	上の国とかっていうような地点、
1:55:29	が出てって、
1:55:32	これは
1:55:34	25ページに入ってないんだけど、少なくとも、
1:55:38	上の国っていう辺りにこんな大きな高さのものはプロットされてないし、
1:55:45	江差18ページの江刺っていうのも5.1メートル。
1:55:50	これは
1:55:52	11世紀から13世紀で、
1:55:55	25ページの江刺っていうところ見ると、
1:55:58	2メートルぐらい。
1:56:01	とかあったりして、
1:56:04	その辺りもいろいろ検討されてるけど一応今、93年のが一番大きいというところで今、
1:56:13	この再現計算というのはされてるんですかね。ちょっとそこの今の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:19	前段の資料と今のこの 25 ページのところの関係がちょっとわかりづらかったというか、いうところ、今、今、
1:56:27	わかる範囲でいいんですけども、
1:56:29	北海道電力の奥寺でございます。6 ページ 7 ページで、今までの津波として、敷地周辺敷地に対して一番大きい気を津波は何かという観点で、
1:56:44	このような 6 ページとか 7 ページのような検討をしております。ですので例えば、上ノ国と言いますとか、箱、函館方面の、
1:56:54	花 C は敷地から離れておりますのでそっちいの方で高くても、これに相当する津波堆積物は、敷地周辺で確認されていないので影響がなかったという、そういうような現象等も、
1:57:08	ございますので、そういう意味では、敷地に影響が一番大きいのは、1993 年だっていう結論は変わらないと考えてます。以上です。
1:57:22	はい規制庁の甲斐です。わかりましたそういった検討もされた上でってことです。はい。
1:57:27	だってあるんであれば本来の目的である基準津波との比較っていうところであれば、あんまり離れたところ、一生懸命、
1:57:38	やっても、やってもというか調べても、そこは本来の目的から外れるかなと思うので、特に近いところっていうところを今後探されていくというふうに、
1:57:50	認識してますので、よろしく申し上げます。なので
1:57:55	先ほど申し上げたんですけど 22 ページの二つ目のマルは評価っていうのは、何の評価をするかっていうのところはちょっとこのバックリとした書き方でわかんないので
1:58:08	追記等お願いしますよろしく申し上げます。
1:58:14	北海道電力の奥寺でございます。わかりました。
1:58:23	規制庁谷です。ちょっとちょっとついでに言うと、
1:58:27	何か 7 ページだとか、さっきのページだとか、何を引用してるのかとかです、ちゃんと先行サイトではそういうことを書いてると思うんで、もう今一度この辺の
1:58:38	資料もですね、よく見て、これ説明したから、
1:58:43	もう説明済みだから更新しませんっていうんじゃないくて、ちゃんと必要なデータを入れ込んでいただくようお願いしますね。
1:59:10	規制庁サービスですけども、ちょっと細かいことかもしれないんですけど幾つか確認をさしてください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:17	細かいというところ細かくないかもしれないですね。まず3ページなんですけど、
1:59:22	3ページの黄色の箱書きの、
1:59:26	下の丸の中で、
1:59:29	検討項目①から③は説明済みの、
1:59:33	内容と今後の方針を、
1:59:37	うんそれはわかります検討項目④から⑥は、
1:59:41	新たに説明する内容ということなんですけど。
1:59:46	④から⑥ってこれまでも一切説明なかったでしたっけ。
1:59:57	北海道電力の奥寺でございます。4から6というのは、これまでの考え方からがらりと変わってしまうという意味で、
2:00:07	新たに説明する内容かなと、そう言っても良いかなと我々としては考えているのでこのように書かせていただいています。以上です。
2:00:18	はい。
2:00:21	ということは、全く新しい考え方。
2:00:25	も含めてじゃないんですか。考え方になってるんですけど。
2:00:30	例えば、さっきもう、
2:00:33	何かやってましたけど、④って、
2:00:36	日本海東縁部と川白の組み合わせって、これまでも当然説明してきていることで、その細かい、
2:00:44	何て言うんすかね。
2:00:45	細かいな中身はちょっと変わってるかもしれないんですけど、何かこう、今、
2:00:53	新たに説明する内容っていうところまでは一切やってなくて、今回初めて出てくるようなちょっと、
2:01:00	イメージに。
2:01:01	私はちょっととらえたんですけど、少なくともそんなことは、
2:01:06	全くないはずなんですけど。
2:01:09	なので、今奥寺さんがご説明いただいたように、何か評価の補方法とかそういうものが、
2:01:17	新しく
2:01:18	なったので新たに、
2:01:20	説明。
2:01:22	という意味だったら何かちょっとイメージ、イメージというか、受ける印象違うかなと思うんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:37	北海道電力の奥寺でございます。
2:01:41	新たについていうところの説明がわかりづらかったかもしれないのでその辺を少し、趣旨がわかるように丁寧に
2:01:51	文言を修正したいなと考えます。以上です。
2:01:55	はい佐口です。だから、少なくとも遅れさと説明だと、前半部分とおんなじですよ。説明済みの内容としかも、
2:02:04	変更点ですよ。荒谷ではなくて、
2:02:07	少なくとも変更点なんじゃないかなと思ったので、そうであれば、多分そうそういうふうになるような形でしていただきたいのと、
2:02:16	それから、5 ページでちょっとさ、
2:02:19	これも単位とかカイダとかありましたけど、
2:02:22	ちょっとごめんなさいね細かい私が理解してないだけかもしれないんですけども、今後の方針のところ津波堆積物評価のところには、知見を網羅的に収集する、一つ目の丸であるんですけど、
2:02:36	この危険と。
2:02:38	既往津波の文献調査で、
2:02:42	特にこの痕跡高について文献調査を行ってなってますよね。これと何がどう違うんですかねっていうのがお聞きしたいのと、
2:02:50	22 ページにもあったんですけど、下、下のマルですね 5 ページの、
2:02:55	この収集した知見、括弧北海道が公表した文献、この北海道が公表した文献点。
2:03:02	まずな何なのかと言うのと、先ほどあったように反映し評価を実施するって言って、何を、
2:03:10	何を反映してな、この、要は、津波堆積物評価として、それに反映して、何か評価をするんですよ。
2:03:19	なので、ちょっと、
2:03:21	どうなのかなと思ったんで、それは先ほどカイダとかも、
2:03:25	コメントしてますし、ちょっとその記載を適正化するなり、
2:03:30	なんかよくわか分かるようにしていただければいいんですけども、少なくともいろいろ調査を文献調査新しいものも含めてやって、多分、
2:03:40	7 ページにあるように既往の津波高の記録、
2:03:45	これって四つほど津波地震津波ありますけど、これが更新されるものがあるのかないかとかです。
2:03:54	実際に 93 年で、シミュレーションもやってますけどこの 93 年の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:01	津波自体にも変更があるのかないのかどうかっていうのも、多分それは今後ご説明いただけるもんだと思いますけど 25 ページとかですね。
2:04:11	今のところそういうものは、
2:04:14	なさそうなのか。
2:04:16	どうなのかって言うのはちょっとそれを聞いてみないとわかんないかもしれないんですけど、
2:04:22	そういうことも含めてそんなことも、今後ご説明があるという理解でよろしいでしょうか。
2:04:33	北海道電力の奥寺でございます。6 ページとか 7 ページの内容というのは、先ほども説明させていただきましたけど、
2:04:43	大体どこのサイトも同じようなやり方をすると思うんですが、津波の
2:04:47	津波被害総覧みたいな C a t a l o g があって、大きそうなものを、をピックアップしていく、あと、この羽鳥のマップっていうのも一般的な図だと思いますけどもこういったものを見た上で、
2:04:59	敷地に影響を与えるものというのが、今五つほどピックアップされていますけどこの内容が変わることはないと考えてます。その上で、この五つぐらいが影響を与えたかなと。
2:05:12	というようなところを、
2:05:15	痕跡高をプロットしていくと 7 のような敷地周辺の話になりますが、比較的近い部分ですね。
2:05:22	こういうようなものがありますと、これも比べた定量的に比べた上で、黒丸の南西沖が大きいですよと。
2:05:31	そういうフローに、丁寧に説明すると申請書なり、説明まとめ資料なりではきちんと書いていくことになるんですけども、
2:05:39	そのまとめ資料の中で先ほど谷さんもおっしゃってたんですけども、
2:05:45	文献の引き合いとかっていうのは巻末に、きちんと調べた文献っての全部載っけていくような形になりますので、そこ生は、丁寧に引用方とかは、
2:05:57	しようと思っただけで今回方針ということで、サエキという形で抜粋したのがかえってわかりづらかったのかもしれないですけども、最終的に、
2:06:07	地震に伴う津波またその先のまとめ資料なりではそういったところも含めてきちんとお示しする予定でございましたけれども、
2:06:17	ちょっと説明になっておりますでしょうか。
2:06:20	以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:24	はい。佐口ですいずれにしても何か、今後ご説明いただけると、いうことですので、ただし、その北海道が公表した文献を含むこの北海道は何を示すのか。
2:06:36	多分一番これって、私は一番最後の 89 ページに載ってる。
2:06:41	北海道 2017 のことなのかなと思ったんですけど、
2:06:45	違うのであれば、何かまたここで文献こういうものですかって入れていただきたいんですけど、もしそうだったら、もう北海道 2017 って明確に書いていただきたいんですけどそこはどうなんですか。
2:07:07	北海道電力奥寺でございます。スケジュール、作業スケジュールをご覧ください。6 ページをご覧ください。
2:07:18	北海道の結果と私たちが言っているのは残されている論点の 9 番。
2:07:23	で、特に 2 行目ですけど、特に北海道が公表した津波堆積物評価と、こう書かれております。これに対して、
2:07:34	北海道が公表した文献を含むということでこれまで作業方針を示させていただいていますので、そのことを言いたい言いたかったということでございます。2017 の話はまた別の話になります。
2:07:48	菅松野 2017 と書いてあるのはまた別な話かと考えてます。以上です。
2:07:56	はい、佐口です。ちなみにこの
2:07:58	木造用ですけど、北海道が公表した津波堆積物評価っていうのは、もう御社は見られているでいいんですよ。これ何もないのかっていうのがよくわからないっていう紙資料上ですね。ていうだけなんですけど。
2:08:12	北海道電力奥寺でございます当然見てございます。
2:08:19	はい宗社長サグチ a s わかりました。で、27 ページ目以降なんですけど、これもちょっとよくわかんなくて、位置付けとかそういう話は先ほど確認ありましたけど、
2:08:32	なぜですね。
2:08:34	例えば 29 ページで、
2:08:37	これ、
2:08:38	積丹半島西方沖の断層だけこういっぱいケースがあるんすかね。
2:08:43	他の F B 2 とか
2:08:46	f s 10 部。
2:08:48	とか、ここの辺は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:50	もっと言うところ、これって何のケースなのかっていう基本ケースなのか、不確かさケースなのか、なんかよくわかんなくて、ちなみに、後ろの方ですね。
2:09:01	見ていくと、例えば 34 ページとか見るところ F B 断層の基準断層モデルとかって書かれてるんですけど、このパラメーターと、この 29 ページのパラメーターって一致してなくて、これって、
2:09:13	何がどう違うのかっていうのがよくわからないんですけど、いや私はわかっているかもしれないんですけど、少なくとも資料上は全然よくわからないんですけどこれ何が違うんでしたっけ。
2:09:25	北海道電力奥寺でございます。積丹半島については、低震源ということで、地震動の方で、
2:09:35	不基本係数不確かさも含めて、モデルを作成しているということで、
2:09:41	そのモデルに合わせた形で津波のモデルを実施しているということでそれで複数のケースを書かせていただいています F B についてか f s 中については地質調査結果でございますので右の図に示してありますように、
2:09:58	こういった確定した断層のに基づいて設定するケースですので、断層の
2:10:07	種類としては 1 種類になるとそういったような違いがございます。
2:10:12	よろしいでしょうか。
2:10:18	はい。規制庁佐口です。
2:10:20	少なくとも、何て言うんですかね、この 29 ページで書かれてる一連のものっていうのは、地震動評価の時に示されたものとは一切違って、津波を 2、
2:10:33	何て言うんですかね。荒谷とは言いませんけれども、地質調査から、
2:10:41	津波用に、
2:10:42	設定したものを。
2:10:45	という御説明。
2:10:46	かなと今、
2:10:48	お伺いしたんですけど、そうすると、
2:10:51	私がさらにさらにとか一番聞きたかったのは 29 ページの、
2:10:57	F B 2 断層って書いてある各種パラメーターと、
2:11:01	34 ページね、F - V 2 断層、これ基準断層モデルって書いてますけどこれ津波のモデルだと思いますけど、これと、パラメーターが違うのは何ですかっていう、そこがメインなんですけど。
2:11:19	北海道電力奥寺でございます。F B 2 とか f s 中については地質調査結果を踏まえて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:28	一つ設定していくと、確定的に設定していくということでこの簡易式に記載している内容というのは、101 キロ 98 キロというのは断層地質調査結果に基づく断層長さを取れず、したもの。
2:11:43	という簡単に言いますとそういうものです。それでもってしたものをするんですけども、断層モデルは矩形モデルですので 34 ページにいけますと、
2:11:55	何らかの形で、筧で設定していくと、その長さを足し合わせてくる、立ち合わせていくと地質調査でトレースした長さとは若干異なるものとなりますので、
2:12:07	違いは、モデルの長さが 948×2 と、
2:12:12	それに対して地質調査のトレイ数を、
2:12:15	簡易的に入れるときの値というのは 101 とそういった違いでございます。あと、
2:12:21	積丹半島については、検診元ですので地質調査結果というよりは、こう仮定したってということ地震動の方でやってございますのでそのうち、
2:12:33	断層長さとか走向を合わせた上で津波モデルに、津波のパラメータスタディのやり方というのが、活断層のやり方が土木学会で定められていますので、
2:12:45	それに基づいてパラメータを設定して行っていくと、そのような違いがございます。以上です。
2:12:55	はい。規制庁佐口です。わかりましたなので考え方が違うと。基本的に間要則式と、いわゆる後で補足系統でやってく。
2:13:06	ものってというのは、考え方が違うんで、パラメーターが違ってても、ちなみにこの 34 ページの断層長さしってというのは、その系モデルと言いつつも地質調査結果により設定とかですね。
2:13:19	あと、断層幅も、地震発生層の厚さ 15 キロって、多分これ、29 ページで書かれてる。
2:13:27	幅っていうのも多分これ 10、15 キロから算定、
2:13:31	ていうのが多分、そのあとに、
2:13:34	あったような気がしたんですけど、そうすると、何でじゃあ幅が違うんですかっていう、幅が違うのは多分傾斜角の設定が違うかなとは思ってますけど。
2:13:44	その辺りも含めて、いずれにしても考え方が違うんで、簡易予測式と、この後でやってる
2:13:52	何ていうんすかね、詳細検討、補足検討と言いながら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:57	こっちのシミュレーションは、考え方が違うんで、それぞれバラバラパラメーターを使ってもいいというふうに考えられてるっていう説明だったと思いますんで、それでよろしいですね。
2:14:12	北海道電力奥寺でございます
2:14:15	そのような理解でよろしいかと思えます我々の考えはそういったことでございます。以上です。
2:14:38	規制庁タニですけど、
2:14:40	ちょっと何か前も聞いたのかもしれないんですけど、これって、話変わるんですけど、
2:14:47	津波堆積物の、
2:14:50	評価結果が出てこないっていうのはこれな、何でなんでしたっけな何でこんな2、時間がかかってるっていう何か理由があったんですっけ。
2:15:01	その辺ちょっと教えてください。
2:15:06	北海道電力、奥寺でございます。
2:15:11	東縁部に全力を注いでいる中で、徐々にまとめを進めているというようなやりくりの部分がございます。以上です。
2:15:33	規制庁谷です。
2:15:36	ただ単に文防護取りずに、
2:15:40	結局、取りまとめるのは基準津波のタイミングになってしまいましたっていう、そういう、
2:15:47	説明。
2:15:49	てとってていいんですか。
2:15:52	何か
2:15:53	分、この知見を調べるのにこういうところを苦労したとかそういうのは特になんてことなんですか。
2:16:03	北海道電力ヤブでございます。確かに今おっしゃるように、東縁部にいろいと、
2:16:11	全力を注いでいたので、ちょっとリソースがそっちまで下げなかったっていうところもございますけれども、並行して作業を進めるとか進めておりましたそれと、
2:16:21	以前ですね確か審査会合だったと思うんですけども、津波堆積物は基準津波の時に、一緒に整理されればいいっていうことをちょっと言われているのでそこを目指してやっていたと。
2:16:35	そういう状況でございます。以上です。
2:16:41	規制庁谷です。はい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:44	もちろん基準津波の時には必要なんですけども、だけどもあれですよあの会合で、津波堆積物もできたら早く出してくださいっていうのは、これまで今位置付けてるっていうことは、
2:16:56	まあまあそれはある、ありましたよねっていうのだけちょっとお伝えしときますけど、あの状況は、
2:17:01	わかりました。
2:17:14	すいません。規制庁鈴木です。ちょっと2点ほど言い忘れてたことがあったんで1046ページをお願いしたいんですけど。
2:17:22	これは単純に資料の見せ方の問題かなと思うんですけど、
2:17:27	ここだけ何かその左側で、いくつか火山によるとか、幾つか書いてあって、それぞれ説明済みで、計算条件バーになってるんですけど、
2:17:38	これ別に何かこれまで計算条件は一切明らかにせずに結果シミュレーションの結果だけ出しましたっていう、
2:17:45	ことではないかなと思っていて、
2:17:48	右側バーのところ2、今までやってなかったことに対して新規に地形モデル評価項目を変更して、シミュレーションを実施しますってなってるんですけど、
2:18:00	これ、いえ、後の資料を見ていくと、これそれぞれ1回、
2:18:05	シミュレーションしたものについて、部分的に地形モデルと評価項目だけ変えて、シミュレーションだけありま直しましたっていうだけかと思うので、何かあえてこの下ですね火山とか海底で地すべりとかっていうふうに木場を記して、
2:18:21	前回計算条件はバーンしてというなんか見せ方するよりも、これまでる説明してきましたけど、単純に地形モデル評価項目としてシミュレーションし直しました以上という、
2:18:32	そういう見せ方の方が、わかりやすいのかなあというのがコメントであります。
2:18:39	それは単なる資料の見栄えなんですけど、5、15ページですかね。
2:18:46	何か
2:18:48	わしら以外のところはおおよそ評価地点が変わったりしても、急いで数センチとかですね10センチ20センチ程度の差しか出てないんですけど、
2:18:59	ここだ系、今だと例えば敷地前面上昇が6.7、69だったのが、棒状で全面だと4.92とかですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:10	多分当方遂行上昇分で 5.91 とか、結構このレベルになってくる数字が、
2:19:17	変わっていてですね、これが、何て言うか地震、地震というか、地震起因の津波との組み合わせに関係ないものであればまた週数時間あってもいいかなと思ったんですけど。
2:19:29	評価はしだって組み合わせの対象物になっているので、
2:19:33	なぜこれだけこう数字が変わってくるのかっていうのは、何らか原因というのは、把握というか分析というかですね、考察というか、されてるんでしょうか。特に今回スケジュールなんで、別にそれをこの中で、
2:19:47	るる述べてくれということではないんですけど、ちょっと気になったものなので、
2:19:56	北海道電力の青木です。
2:19:59	藤川しらの結果の変更前のものについては、
2:20:04	補足説明資料の方に掲載してございますのでそちら用いて説明させていただきます。
2:20:10	補足説明資料の 104 ページをお願いいたします。
2:20:19	こちらの左側に掲載しているものが、
2:20:22	上昇は最大、最大水位上昇量分布となっております。
2:20:28	このうち引き出し線のところで 7.69 という数字が書いてあるもの。
2:20:33	についてはこちら変更前の、敷地前面の上昇側の最大の数字でこちらの 7.69 が、
2:20:40	先ほどの、
2:20:42	変更前の数字として掲載されております。
2:20:45	そこから敷地のモデルが変わりまして、防潮底の前面に評価範囲を設定し直したというところで、その最大地点がこの 7.69 から別の場所から選定されたというところがこの変更理由となっております。
2:20:59	ただ重畳させる波源自体については、頭から変更されてませんので、
2:21:05	衛藤。
2:21:06	数字、評価値自体は変わっているものは現自体に変更はございませんので、そういった理由になってございます。説明以上です。
2:21:18	すいません
2:21:20	前回の座高ですってのはわかったんですけど、単純にその、例えば 53 ページだと同じ敷地前面評価前ですね、もともとが敷地前面上昇が 0.27 で、
2:21:32	それが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:33	地形を変えましたとって、0.24 なんですこれは3、
2:21:39	3センチ下がりましたっていうレベルなんですけど、
2:21:43	これは河瀬だけなんですこうメートル単位で、
2:21:46	ガサッと変わってくるんですかねって言ったら単純にその考察ってあるんなら別に考察するまでもないことなのか。
2:21:56	北海道電力の奥寺でございます48ページをご覧ください。
2:22:05	先ほど青木が説明したのが、左の
2:22:11	評価は評価項目評価範囲ということで、
2:22:14	左、左の図の左側の方の部分ですけれども、この折れ点、防波護岸の折れ点ぐらいのところでは最大値が出てると。
2:22:26	それを今回、変更後の評価範囲としては、右側の赤の範囲になりますので、
2:22:34	評価値を拾い上げるところががらりと変わっているということで、数字的には大きな変更となっております。以上です。
2:22:44	すいませんA D E K Aは白井があまりその評価値を振りをやめる点が大きく変わってなくて川白だけ変わったんです、見かけ上数字が大きく変わりましたと。
2:22:53	そういうふうに理解すればいいですかね。
2:22:57	北海道電力奥寺でございます他の津波というのが、敷地に押し寄せても、感覚的な説明になってしまいますけどもあまり波高が大きくないものでございますので、
2:23:09	外側の値とかその案内の値含めて、そんなに影響があるものでないの、そういう違いがあるかと思えます。以上です。
2:23:19	わかりました逆にあれです先ほど私が申し上げ、理解ではなくて、この川下レベルのここまでの、になると、
2:23:27	初めて、
2:23:29	あれですかね上昇の数字の違いが出てきて、他のものってのはほぼほぼその1メートルにも満たないものことから、小さい阪上テールになるので、
2:23:39	あそこはほぼほぼ影響が出ない。
2:23:43	そういうふうにすいません読み取っ。
2:23:45	ています。聞き取ってますけどその理解でやっています。
2:23:52	当北海道電力の青木でございます。
2:23:55	ちょっと別の波源についても分布図見ていただくと理解が早いかと思えますので、補足説明資料の50ページをご覧ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:11	こちら別の波源の最大水位上昇量分布左側を書いておましてこちら も、川下と同じような地点で0.27という数字が出ております。
2:24:21	こちらについては敷地全体の損水の、
2:24:24	上昇分とか似たような形で同じような青色でハッチングされてますの で、そういった違いで、評価地点が変わっても、
2:24:34	その変更前後でその差分が出てこなかったというところになります。一 方先ほど説明した通り104ページの下わしら、
2:24:41	その破棄Aですと、分布図ですと、
2:24:45	川白ですとこちら敷地北側の方で水位が高い傾向があってもこの影響を 受けて、この
2:24:51	7.69という数字が大きく下がったというところになります。
2:24:56	説明以上です。
2:25:03	すみませんありがとうございます。ちょっともう一度読み返してみます 古いやつは。はい。
2:25:25	規制庁谷です。
2:25:28	ちょっと工程の話も絡めて確認したいんですけど、今回結局のところ、 組み合わせる津波っていうのは、
2:25:38	阿部の簡易予測式で選べるんですよっていうそういう主張が、
2:25:46	されてるんですけど、
2:25:51	そういう方針でいきたいっていうのを北海道電力の気持ちとして、資料 でわかりました。そうなってくると、北海道電力の北海道電力として は、
2:26:03	何て言うんですかね僕らは、津波、地震に伴う津波一色の説明がなけれ ば、なかなか組み合わせるの相手が、
2:26:15	日本海東縁部だけでいいのかっていうのははっきりと決められませんよね っていうのを前回の会合で言ったわけなんですけど、今の北海道電力の 説明の方針でいくと、
2:26:27	これで方針を決めるんだから、だから何ていうんですかね、地震に伴う 津波っていうこうセットで評価するのは、
2:26:37	もっと別に、
2:26:39	優先するようなものではない。
2:26:42	ていうような考えになって、
2:26:44	なってくるんですかね何て言うんですかね私が聞きたいのは、この津地震 に伴う角ニシキを説明するためにすごく
2:26:55	頑張っているけど、実はそれって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:00	何ていうんですかね評価にはあんまり、
2:27:03	関係ないことをこうしているっていうような状況にんなるのかもしれないと、ここの方針が、これでいいんだっていう話になればですね、ちょっとその辺のですね状況、おのずとも、
2:27:16	東縁部のあとMじゃない、地震に伴う津波はもうもうほぼほぼ評価ができてから、このままもうセットしてしまいたいっていう気持ちなのか。
2:27:26	それとも、場合によっては、他の項目のところにリソースを割きたいっていう気持ちがあるのかその辺だけちょっと確認させてください。
2:27:43	北海道電力の藪ですけれども、
2:27:49	えーっとですね。
2:27:51	正直リソースの関係で言いますと、やはり、
2:27:56	つくる資料は一緒だからおんなじだろうというふうに思われるかもしれませんがその間、
2:28:03	やっぱヒアリングの対応がM a a S 2 回ほどあって、審査会合力があるということで資料の修正作業とかそこでやってかなきゃならない。
2:28:16	ので、
2:28:17	できればですね、今、地震に伴う津波は7月上旬にお出ししますと。
2:28:25	いう工程を組んでおりますけども、8月上旬に、
2:28:30	まとめて出さしていただければ、
2:28:33	今共感意識で、結果でしかお示し、
2:28:38	してませんけど考え方は、また今度説明資料中きちっとロジックだって説明させていただくことになりますけれども、
2:28:47	8月上旬で良いということであれば8月上旬さしていただけると。
2:28:52	そういうリソースという意味では、他まだ仕上がっていないところがあるので、
2:28:58	助かると言えば助かります。
2:29:01	以上です。
2:29:05	はい今の北海道電力のお気持ちっていうのはわかりましたんで、例えばねじゃあね、その地震に伴う津波をちょっとおくらせたら、
2:29:15	どっか別の部分が前倒してこう意識説明できるんだとかそういう項目は別にでもそ、それはそれであるわけではないんですか。
2:29:24	例えば、津波堆積物が入るとかそんなわけではない。
2:29:28	そこをまとめさせていただいたとしてもですね、ちょっとどっかがじゃあそれで早くなって先に出せるかっていうと今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:36	そのうち仕上げていってる作業の中で一番そこだけ切り離して出せそう なところ。
2:29:43	という意味と前回、まず地震伴う津波を説明してくれていうご指示が ありましたんで何とかそこだけ今切り出してですね、
2:29:53	説明しようというふうにやっておりますんで、
2:29:58	それを止めたからといって他がじゃあ前に出てくるかというちょっと そういう作業状況ではなくなっておりますし、いずれにしても全体を仕 上げてお出しできるのはそこに書いてある8月上旬頃何とか、
2:30:13	そこを目指して頑張っているという状況でございます以上です。
2:30:20	はい。規制庁丹治ですけど状況というかお気持ちはわかりましたので。 でも、今んところ今のこういった作業を進めてるっていうこういう工程 で進めてるっていうのも、
2:30:31	実際のところはそうだけど、お気持ちはそういう気持ちだっていうのが わかりました。
2:30:38	すヤブですけども、もうそれで、
2:30:42	もし今切り換えられるんならその方がありがたいと思うんですが、
2:30:48	それはこの場では決まらないということで、我々としてはやはり7月上 旬提出に向けて、
2:30:54	準備は続けていくと、そそういう整理だということ、理解でよろしいで すか。木内大谷ですけど。うん。
2:31:02	その方針についてもですね。だからそういう方針も、何か議題、今度の 会合で、検討方針についてということで、あるのでそれぞれ、その議論を してみないと。
2:31:16	ちょっとその辺がですね、これでいいのかっていうのはあると思うので 今んところだから、
2:31:22	ここの方針で進めていってもらえたら、今のスケジュールでですね、進 めていきながら、ちょっとこの会合でも議論しましょうっていうところ です。
2:31:33	北海道電力様です。承知いたしました。
2:32:13	規制庁の名倉です。
2:32:17	今回、
2:32:20	検討方針を一括して、
2:32:23	6789を説明する意味って何なのかって、
2:32:28	いうことを考えると、
2:32:32	それはある程度検討方針を確認しておけば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:37	そのあとの結果が出てからのプロセスをある程度合理化できるだろうと。
2:32:42	もしくは、本来、シーケンシャルにやるべき内容を同時にやってもいいだろうと。
2:32:49	そういうことの判断をちゃんとするために検討方針をあらかじめかけましょうと。
2:32:56	ということになります。従って、今回の会合でのポイントは何なのかっていうと、
2:33:03	6 番に対しては、積丹半島瀬北西沖
2:33:09	以外の、
2:33:11	敷地周辺の海域活断層とか、
2:33:15	そういったものから実際に、
2:33:18	これが日本海東縁部を超えませんか、影響。
2:33:23	日本海東縁部はあくまでも代表ですということの見通しがどれぐらいえられるのか。
2:33:29	それからあと、日本海東縁部と組み合わせる地すべりについてはすでにこれまで会合等で確認をある程度してきてるからこれは従前の方針に変わりはないだろうということの見解と、
2:33:43	あと、それを組み合わせるときの組み合わせの仕方、
2:33:48	これが前例も踏まえた上で北海道電力としてこの泊サイトに適切な
2:33:55	組み合わせ方法としてこういうことを新たに考えてこれを適用しますよと。
2:34:01	いうところの方針とその方法の内容、
2:34:05	これがある程度合理的ですと、科学的合理性を有しますと。
2:34:09	ということが見通しがられればですね。
2:34:13	基準津波、
2:34:15	策定等とあわせて議論しましょうよと。
2:34:20	それからあと基準津波による遡上津波高さとか津波堆積物の日、
2:34:25	整理結果、こういったものも基準津波の策定の傍らで、参考とすべき内容として、
2:34:34	ある程度十分な調査、評価が行われているのであれば、これも一緒に説明してもらってもいいでしょうと。
2:34:43	かつ、そのあとのヒアリングの工程とかに関しても、資料提出してから、
2:34:50	会合までが 12345 週間。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:54	こういったほぼ1回のヒアリングを念頭にしたスケジュールリングでも何とかやっていけるでしょうと。
2:35:04	こういった見通しを得るために、今回の検討方針の会合があると。
2:35:11	ということなので、
2:35:13	今もう、私幾つか言いましたけど、ポイントを押さえた説明をどうするのか。
2:35:19	そのポイントを抑えるためにどういう観点で資料を充実させなくちゃいけないのかっていうことは今日審査官の方からいろいろとコメントが出て、
2:35:28	少なくとも私が理解してる限りは、
2:35:32	審査官の方はこういったことは踏まえた上で今日コメント出しているので、
2:35:38	そこら辺をちょっと意識していただいた上で、
2:35:41	じゃあ、そういったことが十分にできているのであれば、6番に関しても非常にずらすことは当然できるだろうと。
2:35:51	ということになると思います。ただ、みずから北海道電力が後ろにずらしますと、
2:35:57	いったときにそれだけの裏があるのか。
2:36:01	ていう話になっちゃうので、ずらすことは多分できなくて、あくまでも審査会合をしてみて、今回の結果についてはこういうスケジュールリングでも、
2:36:11	良いということを示す内容であったかどうか、それを今回の
2:36:16	評価方針の会合で評価をするということになります。
2:36:22	従って、今回示す内容が目的に応じて、目的を達成するために十分なものであるのかどうか。
2:36:30	それが非常に重要なところです。それを意識して、資料をちょっと作り込みというか、もうあんまり時間ないのかな。
2:36:39	うん。今ある資料を、さらにその目的を達成するための資料に近づけていただきたいというふうに思いますがいかがでしょうか。
2:37:44	答えた。
2:37:48	規制庁ですけど今
2:37:51	調整官の
2:37:54	コメントから、特に返事がないですけど、返事はされてないんですか。
2:38:00	マイクそして、
2:38:02	オクデラです。少々お待ちください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:59	規制庁の名倉です。今私が、
2:39:03	今回の会合の目的とか、その目的を達成するために重要なことは何なのかっていう話をちょっとしたんですが、
2:39:12	非常にハードルが高いことを言ってしまったので、最低限今回の会合で達成して欲しいことは何なのかっていうことを、
2:39:25	少しお話をしますと、
2:39:28	6番のところに関連して、6番7番ですね。
2:39:34	これは通しナンバーで言ってます。
2:39:37	7番のところの日本海東縁部に想定される地震による津波、
2:39:43	これが代表であるということの見通しをですね、
2:39:48	ちゃんと説明していただければ、
2:39:51	これが最も重要なことで、あと、ちょっと今日質疑にもありましたけれども、
2:39:59	組み合わせの考え方として、
2:40:03	事業者が考えている方針が、
2:40:06	何て言うのかな、途中で藤谷とか鈴木の方から少し話ありましたけど、
2:40:12	少し流れがわかるようにして欲しいと。
2:40:17	そん中で、こういうケースについてはこういう考え方ですよというところの考え方ですね、そこら辺を、今の資料ちょっとわかりにくいところがあるのでもう少しわかりやすくしてください。
2:40:30	というこの2点のところですね。
2:40:34	日本海東縁部に想定される地震による津波が、
2:40:38	海域活断層と、地震による津波のチャンピオンであるということと、それを組み合わせるときの考え方で泊サイトの特徴を踏まえた、
2:40:52	組み合わせ方法。
2:40:55	それはこういう考え方ですということを明確に説明していただいて、それがある程度そうですね未踏Cがありますねと。
2:41:06	いうことであれば少なくとも最低限の目的は達成されて、
2:41:11	それらについては結果をちゃんと示してくださいねという、おさまりになるのかなと思います。
2:41:19	いかがでしょうか。これできれば来週、
2:41:37	会合については、いつやるかっていうことについては、なるべく近々やりたいんですがそこら辺、この最低限の目的というかそれを達成するためのチューニングっていうのは、
2:41:51	短期でできるでしょうか、ちょっと福岡が教えていただけますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:28	北海道電力藪ですけれども今ちょっといろいろこっちですすね議論しております今日、ノース名倉さんから、
2:42:38	多点も含めていろいろわかりやすさとかの観点から、
2:42:43	結構な資料修正が必要だろうと思っておりますので、
2:42:49	ちょっとその何日かですぐ直るという感じではないかなというふうに受けとめておまして、
2:42:56	1週間ぐらいちょっと時間社内的な確認も必要な、必要になりますのでちょっと1週間ぐらい時間いただければというふうに思っております。以上です。
2:45:11	規制庁谷です。
2:45:13	今ちょっと、できるだけ早く検討結果を出していただいて、必要なところ、質疑、先ほど言った、必要なところにちょっと重点的に手間をかけてやってもらったらと思ってて、
2:45:28	あとは何か
2:45:31	ここ、
2:45:33	全部が全部、コメントを対応する必要もないのかもしれないので、必要なことは介護で、口頭でも説明してくれたらいいですすね。
2:45:42	早いところ、資料をまとめて、
2:45:46	会合のめどを立てたいと思いますのでよろしくお願いします。
2:45:53	ヤブですけれども、
2:45:57	具体的に、
2:45:59	いつぐらい。
2:46:00	ちょっとその辺のロジック的な話に関してはですね、また後程我々の成長性調整もありますので、はい。
2:46:09	わかりました。
2:46:11	ちょっといずれにしても、ちょっと二、三日どうこうっていう感じではないと思っておりますので、よろしくお願いいたします。状況わかりました。
2:46:23	あと1点、スケジュールのところなんですけど、
2:46:30	火山のところを伸びるっていう話他、他、何か書き加えてますよねと他電力の資料レビュー等のっていうのは、
2:46:37	これって、
2:46:41	どう、どうして火山は、このレビューが必要になったんですたっけ、この。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:46	前も何かちらりと聞いたんですけど、どうしてこれはレビューするんですか。
2:46:56	北海道電力数です。
2:47:01	前にもちょっと1度、
2:47:04	前回のヒアリングですか、ご説明しましたけど、
2:47:08	あまり何回も言うと、恥ずかしい話じゃなくてあれなんですけど、
2:47:12	昨年10月のヒアリング、それから今年3月31日の
2:47:19	論点を整理した審査会合、昨年の日や10月のヒアリング審査会合それから3月31日の
2:47:28	論点を整理した審査会合で繰り返し、
2:47:33	火山についての対応のまずさを指摘されているというふうに我々も認識していて、
2:47:42	そこを受けとめております。それで、
2:47:47	そこを何とか改善すべくですね電事連大、
2:47:52	含めて協力を合おうということで、今すでにご承知の通り、
2:47:59	電中研さんの地質形として佐々木さんにも引き続きご指導いただいておりますし、
2:48:07	また別な方も出向していただいているということをやっていますがその他、
2:48:14	すでに審査の終えられた先行サイトさん、特に巨大噴火が絡むところとか、
2:48:22	を含めてですね、我々の資料のわかりやすさですとか、論理構成とかをレビューしていただいて、
2:48:31	した方がより良い資料に仕上がるだろうと資料が精緻に仕上がるだろうというふうに考えまして、
2:48:39	今電事連大でこういうことをお願いして受けていただけるという状況でございますので何とかその時間はいただいて、
2:48:48	しっかりした資料にしてお出ししたいと、そういう考えでございます以上です。
2:48:54	状況わかりましたし前回は実は、そういうことも説明された。これ、何で火山がっていうのは、他は、
2:49:03	そういうことは必要ないんで、他の分野は必要な中、今の説明を聞くと、何か規制庁が言われたから、
2:49:14	ていうだけだけなのか。
2:49:19	何、何で火山だけなのかなっていう。
2:49:23	農家、感じたんですね。例えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:26	余裕がある部分だったらじゃあ他の分野もやらなくていいのかそこは地震北電、北海道電力として自信を持ってやってるから
2:49:35	いいってことなんですかね。
2:49:39	北海道電力藪です。一つは工程上、
2:49:44	火山についてはクリティカルになってない。
2:49:47	部分もあって、
2:49:49	そこは少し実感、規制庁さんの了解いただいて時間をとってしっかりしたもので説明したいと。
2:49:57	思っておりますし、かなり
2:50:00	続けて、火山については、しっかりや、やんない、やりなさいというようなことを、
2:50:08	ご指摘されているというふうにも認識しておりますのでそこを、
2:50:11	重点的に取り組むということで考えてございます。
2:50:17	他、
2:50:18	そのまま地震と津波、
2:50:21	ていうことなのかと思いますが、
2:50:25	一応、津波については主立った東縁部が経理がついて今日、こういった方針を説明させていただいてますが、テクニカルな、
2:50:36	その理学的な部分含めてですね。
2:50:40	大きな論点っていうんですかねそこは整理されているので、あとは我々の中でですね作業していくのかなと思ってますが必要に応じて電中研の津波の専門家には、
2:50:51	レビューしていた、していただいたりして、意見をいただいているという状況でございます。地震につきましてもですね今、
2:50:59	特定せずのところの礫特性のところは残っておりますが、それを説明して次基準地震動という運びになっておりますので、
2:51:11	そこについてもちょっとスピード感っていうのが必要っていうこともありましてそこは何とか我々の中でですねしっかりやっていこうという考えでございます以上です。
2:51:21	簡単に差配状況を確認できました。はい、はいはいお考え大体わかりました。
2:51:42	規制庁谷です。大分時間過ぎてしまって
2:51:47	なのでヒアリングは以上にしたいと思います。
2:51:52	北海道電力の方からは特にはないですか。
2:52:00	北海道電力奥寺でございます。特にございません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:05	はい、規制庁タニそれではヒアリングを終わります。どうもお疲れ様でした。
---------	-------------------------------------

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。